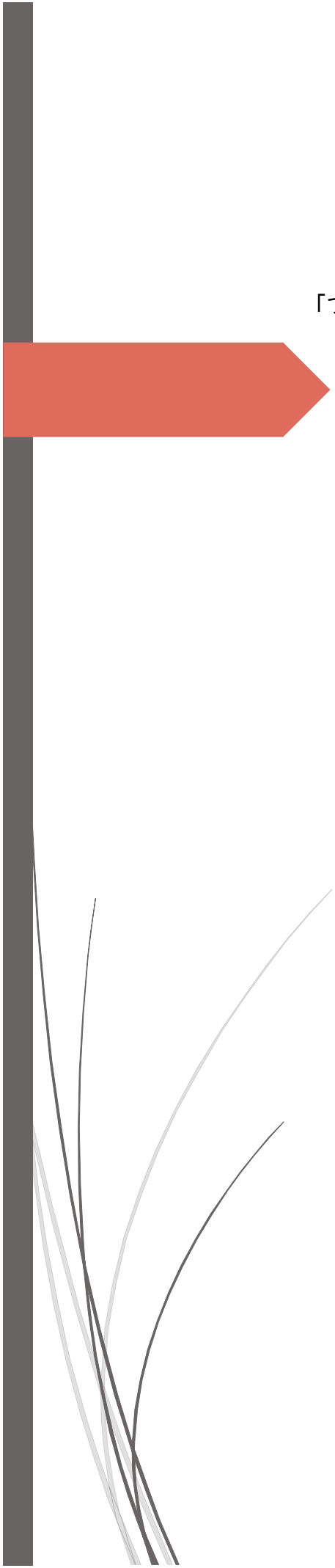


A thick dark gray vertical bar runs down the left side of the page. At the bottom left, there are several thin, curved lines in dark gray and light gray, resembling blades of grass or reeds.

「つながり・支え合いのある地域共生社会」を考える

A solid red arrow pointing to the right, positioned to the left of the main title.

福島市の“地域福祉”推進のための アンケート調査報告書

令和7年（2025年）3月
福島市

目 次

I 調査の概要	1
1 調査の目的.....	2
2 調査の設計.....	2
3 回収結果.....	2
4 留意点.....	2
5 サンプル数と標本誤差（信頼水準）	3
II 調査の結果	4
1 基本属性.....	5
2 人との「つながり」について.....	7
3 地域での支え合い・助け合いについて.....	23
4 情報収集の方法について.....	42
5 孤立・孤独について.....	50
6 防犯・再犯防止について.....	56
7 その他.....	62
III アンケート調査票.....	74

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「福島市地域福祉計画2026」の策定に向けて、地域やその地域に居住する住民の生活課題を的確に把握し、地域ごとの多様なニーズを計画に反映することを目的に実施しました。

2 調査の設計

項 目	内 容
調 査 対 象	令和6年9月末時点の市内在住の18歳以上の男女 2,500人
抽 出 方 法	年齢別按分による無作為抽出
配布・回収方法	【配布】調査票による郵送 【回収】① 調査票の郵送回答 ② インターネット回答（専用フォーム）
調 査 項 目	① 基本属性 ② 人との「つながり」について ③ 地域での支え合い・助け合いについて ④ 情報収集の方法について ⑤ 孤立・孤独について ⑥ 防犯・再犯防止について ⑦ その他
調 査 期 間	令和6年10月30日～11月20日

3 回収結果

項 目	内 容
配 布	2,500件
回 収 件 数	966件（郵送：711件、インターネット：255件）
回 収 率	38.6%

4 留意点

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で示します。
- 図表の「回答者」は、構成比算出の母数（回答者数）を示します。
- 構成比（百分率）は、母数（回答者数または回答限定設問は該当者数）を100%として算出します。なお、本文及び図表の数字は小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位で示しているため、選択肢の比率の合計が100%にならない場合、複数回答の設問は100%を超える場合があります。
- 選択肢の語句が長い場合、本文中及び図表では省略している場合があります。

- 限定設問やクロス集計等における母数の少ない調査結果は統計的誤差の大きい場合があります。結果及び数値の取扱いには特に留意する必要があります。
- 限定設問や複数回答では、「無回答」を非表示としています。
- クロス集計では、「その他」「無回答」を非表示としています。

5 サンプル数と標本誤差（信頼水準）

国などが行っている標本調査においては、信頼水準（正しく判断できる確率）を95%として調査の設計が行われていますが、その場合の必要な「サンプル数」は384となっています。本調査に当てはめた場合、回収したサンプル数が966であるため、より信頼性の高い調査であると言えます。

また、本調査における標本誤差(※)について、統計局が推奨する計算方法により回収率40%と想定し算出した場合、その誤差は±3.15%となり、36.85%～43.15%の誤差であれば信頼水準95%以上であると言えます。今般の調査結果に当てはめた場合、回収率が38.6%であるため、信頼できる結果であると言えます。

※「標本誤差」

全体の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことを言います。

Ⅱ 調査の結果

1 基本属性（はじめに、あなたご自身のことについてお伺いします。）

問1 あなたの年齢はおいくつですか。（〇は一つ） ※令和6年10月1日現在

選択肢	回答者	（内WEB）	構成比	
10～20歳代	129	66	13.4%	13.4%
30歳代	105	49	10.9%	10.9%
40歳代	157	59	16.3%	16.3%
50歳代	144	44	14.9%	14.9%
60歳代	149	26	15.4%	15.4%
70～74歳	79	6	8.2%	8.2%
75歳以上	203	5	21.0%	21.0%
無回答	0	0	0.0%	0.0%
合計	966	255	100.0%	

問2 あなたの性別をおしえてください。（〇は一つ）

選択肢	回答者	構成比	
男性	426	44.1%	44.1%
女性	528	54.7%	54.7%
どちらでもない	1	0.1%	0.1%
無回答	11	1.1%	1.1%
合計	966	100.0%	

問3 あなたのお住まいの地区をおしえてください。（〇は一つ）

選択肢	回答者	構成比	
中央地区（本庁）	127	13.1%	13.1%
渡利地区（立子山を含む）	69	7.1%	7.1%
杉妻地区	43	4.5%	4.5%
蓬萊地区	30	3.1%	3.1%
清水地区	104	10.8%	10.8%
東部地区（大波を含む）	46	4.8%	4.8%
北信地区	101	10.5%	10.5%
吉井田地区	49	5.1%	5.1%
西地区（土湯を含む）	29	3.0%	3.0%
飯坂地区（茂庭を含む）	66	6.8%	6.8%
信陵地区	53	5.5%	5.5%
松川地区	50	5.2%	5.2%
信夫地区	89	9.2%	9.2%
吾妻地区	80	8.3%	8.3%
飯野地区	18	1.9%	1.9%
無回答	12	1.2%	1.2%
合計	966	100.0%	

問4 あなたの職業をおしえてください。(〇は一つ)

選択肢	回答者	構成比	
正規の社員・職員	321	33.2%	33.2%
派遣・嘱託・契約社員	45	4.7%	4.7%
パート・アルバイト	117	12.1%	12.1%
自営業（家事手伝い含む）	63	6.5%	6.5%
会社役員	22	2.3%	2.3%
学生	34	3.5%	3.5%
専業主婦・主夫	117	12.1%	12.1%
無職	243	25.2%	25.2%
無回答	4	0.4%	0.4%
合計	966	100.0%	

問5 あなたの家族構成をおしえてください。(〇は一つ)

選択肢	回答者	構成比	
単身世帯	129	13.4%	13.4%
1世代世帯	299	31.0%	31.0%
2世代世帯	457	47.3%	47.3%
3世代世帯	62	6.4%	6.4%
その他	14	1.4%	1.4%
無回答	5	0.5%	0.5%
合計	966	100.0%	

問6 あなたのお住まいの居住形態をおしえてください。(〇は一つ)

選択肢	回答者	構成比	
持ち家（一戸建て）	700	72.5%	72.5%
持ち家（集合住宅）	45	4.7%	4.7%
民間賃貸（一戸建て）	35	3.6%	3.6%
民間賃貸（集合住宅）	137	14.2%	14.2%
公営住宅（市営・県営等）	22	2.3%	2.3%
社宅・公務員住宅等	14	1.4%	1.4%
その他	10	1.0%	1.0%
無回答	3	0.3%	0.3%
合計	966	100.0%	

2 人との「つながり」について

問7 近所の人とどの程度お付き合いがありますか。(〇は一つ)

「立ち話やあいさつを交わす程度」(62.9%)が最も多く、全体の6割以上を占めています。次いで「顔を知っているが、声をかけることはほとんどない」(13.8%)、「家を行き来するなど親しい関係」(11.6%)となっています。

選択肢	回答者	構成比	
家を行き来するなど親しい関係	112	11.6%	11.6%
立ち話やあいさつを交わす程度	608	62.9%	62.9%
顔を知っているが、声をかけることはほとんどない	133	13.8%	13.8%
ご近所付き合いはしていない	107	11.1%	11.1%
無回答	6	0.6%	0.6%
合計	966	99.4%	

【問7】近所の人との程度お付き合いがありますか。(〇は一つ)

・単位：回答者数 ・「その他」「無回答」は非表示		回答者数	しい家を 関るを 係来す るな ど親	わす 立ち 話や あい さつ を交	どを 顔を なか ける こと はほ とん	いご 近所 ない 付 き合 いは して
全体		960	112	608	133	107
年齢	10～20歳代	129	3	54	31	41
	30歳代	105	4	62	20	19
	40歳代	155	9	102	25	19
	50歳代	144	8	105	21	10
	60歳代	148	13	113	16	6
	70～74歳	79	17	52	9	1
	75歳以上	200	58	120	11	11
性別	男性	426	55	263	63	45
	女性	522	57	336	67	62
	どちらでもない	1	0	0	1	0
居住地区	中央地区（本庁）	127	5	75	24	23
	渡利地区（立子山を含む）	68	11	40	11	6
	杉妻地区	43	4	22	11	6
	蓬萊地区	30	2	25	1	2
	清水地区	103	8	74	11	10
	東部地区（大波を含む）	45	9	30	5	1
	北信地区	100	11	63	15	11
	吉井田地区	49	5	32	7	5
	西地区（土湯を含む）	29	6	16	2	5
	飯坂地区（茂庭を含む）	66	9	45	5	7
	信陵地区	52	5	36	6	5
	松川地区	50	10	29	7	4
	信夫地区	89	7	57	14	11
	吾妻地区	80	12	52	8	8
	飯野地区	18	8	5	5	0
職業	正規の社員・職員	319	19	182	61	57
	派遣・嘱託・契約社員	45	1	30	5	9
	パート・アルバイト	117	10	88	13	6
	自営業（家事手伝い含む）	63	12	49	1	1
	会社役員	22	4	15	3	0
	学生	34	0	20	8	6
	専業主婦・主夫	116	16	84	9	7
	無職	240	49	138	33	20
家族構成	単身世帯	126	13	60	17	36
	1世代世帯	297	41	185	39	32
	2世代世帯	457	48	307	70	32
	3世代世帯	62	6	47	7	2
居住形態	持ち家（一戸建て）	697	103	478	85	31
	持ち家（集合住宅）	45	1	29	7	8
	民間賃貸（一戸建て）	35	4	19	8	4
	民間賃貸（集合住宅）	135	3	49	31	52
	公営住宅（市営・県営等）	22	0	19	2	1
	社宅・公務員住宅等	14	1	9	0	4

問7-1 上記問7で(3)または(4)とした一番の理由はなんですか。(〇は一つ)

問7の「顔を知っているが、声をかけることはほとんどない」「ご近所付き合いはしていない」と答えた方の内、「普段、付き合う機会がない」(55.0%)が最も多く、全体の5割以上を占めています。次いで「あまり関わりをもちたくない」(14.6%)、仕事や学業、家事、育児などで忙しく時間がない」(11.3%)となっています。

選択肢	回答者	構成比	
仕事や学業、家事、育児などで忙しく時間がない	27	11.3%	11.3%
引っ越してきて間もない	7	2.9%	2.9%
普段、付き合う機会がない	132	55.0%	55.0%
同世代の人が近くにいない	13	5.4%	5.4%
気の合う人や話の合う人が近くにいない	14	5.8%	5.8%
あまり関わりをもちたくない	35	14.6%	14.6%
その他	11	4.6%	4.6%
無回答	1	0.4%	0.4%
合計	240	100.0%	

【「その他」の回答】

- アパートなのであまり人と会わない。(30歳代 女性)
- 身体が不自由である。(75歳以上 女性)
- 人間関係が一番怖いです。恐怖を感じます。(70～74歳 女性)
- 私は付き合いがないが、両親は付き合いがある。(40歳代 女性)

【問7-1】問7で(3)または(4)とした一番の理由はなんですか。(〇は一つ)

・単位：回答者数 ・「その他」「無回答」は非表示		回答者数	ない 仕事や学業、家事、育児など で忙しく時間が	引越してきて間もない	普段、付き合う機会がない	同世代の人が近くにいない	気の合う人や話の合う人が近くにいない	あまり関わりをもちた くない
全体		228	27	7	132	13	14	35
年齢	10～20歳代	70	8	2	47	8	0	5
	30歳代	38	4	4	18	1	1	10
	40歳代	43	6	0	24	1	3	9
	50歳代	29	8	0	15	1	3	2
	60歳代	22	1	0	15	1	3	2
	70～74歳	9	0	1	5	0	1	2
	75歳以上	17	0	0	8	1	3	5
性別	男性	104	10	5	61	7	6	15
	女性	121	17	2	71	5	7	19
	どちらでもない	1	0	0	0	1	0	0
居住地区	中央地区（本庁）	45	3	1	32	2	2	5
	渡利地区（立子山を含む）	16	1	1	13	0	1	0
	杉妻地区	17	2	0	10	0	0	5
	蓬萊地区	3	2	0	0	0	1	0
	清水地区	20	3	1	9	2	1	4
	東部地区（大波を含む）	6	1	0	2	1	0	2
	北信地区	24	2	1	16	2	2	1
	吉井田地区	11	1	1	6	1	0	2
	西地区（土湯を含む）	7	2	0	2	0	0	3
	飯坂地区（茂庭を含む）	11	2	0	6	1	1	1
	信陵地区	11	0	0	7	0	2	2
	松川地区	9	0	1	3	1	0	4
	信夫地区	24	3	1	14	1	2	3
	吾妻地区	16	2	0	10	2	0	2
	飯野地区	5	3	0	0	0	1	1
職業	正規の社員・職員	116	19	5	72	4	1	15
	派遣・嘱託・契約社員	13	1	0	7	1	1	3
	パート・アルバイト	18	1	1	8	2	2	4
	自営業（家事手伝い含む）	2	1	0	0	0	1	0
	会社役員	3	0	0	2	1	0	0
	学生	14	5	0	8	1	0	0
	専業主婦・主夫	16	0	0	10	0	4	2
	無職	45	0	1	24	4	5	11
	単身世帯	47	5	1	31	2	3	5
家族構成	1世代世帯	71	6	2	45	1	4	13
	2世代世帯	99	14	4	53	9	6	13
	3世代世帯	9	2	0	3	0	1	3
	持ち家（一戸建て）	111	17	2	57	9	11	15
居住形態	持ち家（集合住宅）	15	1	0	10	0	0	4
	民間賃貸（一戸建て）	12	2	1	4	1	1	3
	民間賃貸（集合住宅）	81	6	3	57	3	1	11
	公営住宅（市営・県営等）	3	0	0	1	0	1	1
	社宅・公務員住宅等	4	1	1	2	0	0	0

問8 日常生活で主にどのような悩みや不安がありますか。(〇は三つまで)

「自分の仕事・将来・老後に関すること」(24.7%)が最も多く、次いで「自分の健康・病気に関すること」(22.6%)、「お金(生活費、財産管理、相続など)に関すること」(20.8%)となっています。

選択肢	回答者	構成比	
自分の健康・病気に関すること	470	22.6%	22.6%
自分の仕事・将来・老後に関すること	515	24.7%	24.7%
自分の子どもの育児や教育に関すること	156	7.5%	7.5%
自分の住まいに関すること	90	4.3%	4.3%
お金(生活費、財産管理、相続など)に関すること	433	20.8%	20.8%
人間関係、人との付き合い方に関すること	79	3.8%	3.8%
家族の介護に関すること	173	8.3%	8.3%
自分や家族のひきこもりに関すること	20	1.0%	1.0%
その他	19	0.9%	0.9%
特になし	126	6.1%	6.1%
合計	2081	100.0%	

【「その他」の回答】

- 住居地の交通状況の不安 (40歳代 女性)
- 年老いてきた両親の免許返納問題 (30歳代 女性)
- 福島は性別の多様性がないので生きにくい。近所も同じ。 (10～20歳代)
- 地区内の班長など年度毎に回ってくる事。町内会の必要性を全く感じない。わずらわしいし、むしろ迷惑。 (40歳代 男性)
- 日本の未来、子ども達の将来。 (40歳代 女性)

【問8】日常生活で主にどのような悩みや不安がありますか。（〇は三つまで）

・単位：回答者数 ・「その他」「無回答」は非表示		回答者数	自分の健康・病気に 関すること	自分の仕事・将来・老 後に関すること	自分の子どもの育児や 教育に関すること	自分の住まいに関する こと	お金（生活費、財産管 理、相続など）に関す ること	人間関係、人との付き 合い方に関すること	家族の介護に関するこ と	自分や家族のひきこも りに関すること	特 に な い
全体		2062	470	515	156	90	433	79	173	20	126
年 齢	10～20歳代	256	22	84	21	5	77	17	10	1	19
	30歳代	247	34	64	48	7	61	14	15	0	4
	40歳代	391	63	102	68	13	77	14	32	7	15
	50歳代	334	61	97	10	20	66	15	44	4	17
	60歳代	317	94	83	4	15	64	5	33	1	18
	70～74歳	153	50	31	2	12	29	4	8	2	15
	75歳以上	364	146	54	3	18	59	10	31	5	38
性 別	男性	885	218	204	61	40	188	27	71	9	67
	女性	1151	244	305	95	48	240	50	100	11	58
	どちらでもない	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
居 住 地 区	中央地区（本庁）	257	57	70	23	8	46	7	22	1	23
	渡利地区（立子山を含む）	148	37	29	10	12	28	6	13	3	10
	杉妻地区	91	22	21	6	4	22	1	8	0	7
	蓬萊地区	59	17	10	3	2	16	2	4	1	4
	清水地区	223	47	56	22	6	38	14	21	4	15
	東部地区（大波を含む）	111	26	29	6	8	26	4	8	1	3
	北信地区	209	46	52	17	8	47	5	16	3	15
	吉井田地区	111	29	28	9	4	26	5	6	0	4
	西地区（土湯を含む）	56	16	16	2	1	9	2	5	0	5
	飯坂地区（茂庭を含む）	137	30	35	8	4	26	5	17	0	12
	信陵地区	121	25	32	12	6	28	8	9	0	1
	松川地区	103	21	27	8	9	25	2	6	1	4
	信夫地区	202	40	54	21	8	44	7	18	2	8
	吾妻地区	169	45	39	8	7	39	6	17	3	5
	飯野地区	34	7	9	0	1	6	1	3	1	6
職 業	正規の社員・職員	732	104	204	97	26	172	28	66	7	28
	派遣・嘱託・契約社員	109	19	35	6	4	28	6	7	1	3
	パート・アルバイト	281	58	82	20	16	66	13	17	0	9
	自営業（家事手伝い含む）	133	33	36	9	6	24	3	13	2	7
	会社役員	41	9	10	1	2	6	0	8	0	5
	学生	60	4	22	1	0	15	5	4	0	9
	専業主婦・主夫	232	72	50	18	6	35	6	23	4	18
	無職	467	167	74	4	30	86	18	35	6	47
家 族 構 成	単身世帯	248	67	70	4	15	53	10	6	1	22
	1世代世帯	622	183	136	26	31	118	21	66	3	38
	2世代世帯	1029	182	273	113	39	226	42	85	14	55
	3世代世帯	129	29	32	13	3	30	4	11	1	6
居 住 形 態	持ち家（一戸建て）	1481	357	369	103	62	297	54	135	13	91
	持ち家（集合住宅）	94	20	27	6	6	19	2	10	0	4
	民間賃貸（一戸建て）	77	15	20	6	4	19	1	5	1	6
	民間賃貸（集合住宅）	302	53	73	32	14	72	18	17	5	18
	公営住宅（市営・県営等）	52	11	11	5	3	12	3	3	1	3
	社宅・公務員住宅等	37	6	13	4	1	10	0	3	0	0

問8－1 日常生活の悩みや不安は、主に誰と相談しますか。(〇は三つまで)

「同居している家族」(39.5%)が最も多く、次いで「知人、友人、職場の人」(22.5%)、「同居していない家族」(19.0%)となっています。

選択肢	回答者	構成比	
同居している家族	623	39.5%	39.5%
同居していない家族	300	19.0%	19.0%
知人、友人、職場の人	355	22.5%	22.5%
近所の人、町内会の役員	26	1.6%	1.6%
行政機関（市役所や支所など）	30	1.9%	1.9%
民生委員、児童委員	13	0.8%	0.8%
かかりつけの病院や薬局	93	5.9%	5.9%
社会福祉協議会	4	0.3%	0.3%
地域包括支援センターや福祉施設	42	2.7%	2.7%
その他	18	1.1%	1.1%
身近に相談できる人や機関がない	18	1.1%	1.1%
相談しない	57	3.6%	3.6%
合計	1579	100.0%	

【「その他」の回答】

- 家内が亡くなって一人なので、その時にならないと分からない。(75歳以上 男性)
- ネットで調べる。(10～20歳代 女性)

【問8-1】日常生活の悩みや不安は、主に誰と相談しますか。（○は三つまで）

・単位：回答者数 ・「その他」「無回答」は非表示		回答者数	同居している家族	同居していない家族	知人、友人、職場の人	近所の人、町内会の役員	行政機関（市役所や支所など）	民生委員、児童委員	かかりつけの病院や薬局	社会福祉協議会	地域包括支援センターや福祉施設	身近に相談できる人や機関がない	相談しない
全体		1561	623	300	355	26	30	13	93	4	42	18	57
年齢	10～20歳代	182	78	24	59	0	1	0	6	0	1	3	10
	30歳代	177	75	40	45	0	4	0	2	0	2	1	8
	40歳代	279	119	57	80	2	3	1	9	0	0	1	7
	50歳代	232	89	43	66	4	4	1	6	0	8	4	7
	60歳代	240	96	47	58	3	4	1	15	1	3	3	9
	70～74歳	127	54	18	18	5	1	1	15	0	5	3	7
	75歳以上	324	112	71	29	12	13	9	40	3	23	3	9
性別	男性	656	289	105	121	18	19	5	46	2	14	9	28
	女性	888	330	190	233	7	10	8	46	2	27	8	27
	どちらでもない	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
居住地区	中央地区（本庁）	207	77	46	51	2	4	2	13	1	4	0	7
	渡利地区（立子山を含む）	103	40	20	25	2	4	1	3	0	2	1	5
	杉妻地区	74	26	19	19	1	0	1	2	0	2	0	4
	蓬萊地区	50	20	6	6	3	3	0	7	0	4	0	1
	清水地区	165	71	32	41	1	2	0	4	1	3	0	10
	東部地区（大波を含む）	76	33	15	17	0	2	0	5	0	1	1	2
	北信地区	162	60	28	44	3	2	1	10	0	7	2	5
	吉井田地区	83	37	14	14	2	1	1	10	0	1	0	3
	西地区（土湯を含む）	39	16	7	6	2	1	1	1	0	2	0	3
	飯坂地区（茂庭を含む）	106	46	18	23	1	1	0	7	0	6	2	2
	信陵地区	82	32	21	20	0	2	1	1	0	1	3	1
	松川地区	79	30	16	17	0	3	1	2	0	2	2	6
	信夫地区	155	67	28	36	2	2	1	10	0	3	3	3
	吾妻地区	134	50	22	26	6	2	2	16	1	3	1	5
職業	飯野地区	20	11	4	3	0	0	0	0	0	1	1	0
	正規の社員・職員	526	218	102	162	4	4	1	10	0	3	4	18
	派遣・嘱託・契約社員	67	30	10	20	0	0	0	4	0	0	0	3
	パート・アルバイト	200	75	42	54	1	5	0	8	0	6	1	8
	自営業（家事手伝い含む）	109	47	19	24	2	6	3	4	0	0	1	3
	会社役員	32	13	5	8	1	0	0	2	0	0	1	2
	学生	41	18	3	16	0	0	0	2	0	0	0	2
	専業主婦・主夫	188	80	43	31	2	4	1	14	0	6	2	5
家族構成	無職	393	140	75	39	16	11	8	48	4	27	9	16
	単身世帯	187	4	71	59	6	6	8	11	0	9	5	8
	1世代世帯	502	233	97	82	5	8	2	33	3	20	2	17
	2世代世帯	749	338	119	182	9	13	1	37	0	13	10	27
居住形態	3世代世帯	96	42	10	29	4	1	0	8	0	0	1	1
	持ち家（一戸建て）	1124	478	198	237	23	18	10	75	2	30	13	40
	持ち家（集合住宅）	71	26	13	19	0	1	0	4	0	3	1	4
	民間賃貸（一戸建て）	61	20	9	12	1	5	2	6	0	1	1	4
	民間賃貸（集合住宅）	227	74	56	76	2	3	1	3	1	3	1	7
	公営住宅（市営・県営等）	41	13	12	6	0	2	0	3	1	2	1	1
社宅・公務員住宅等		23	11	7	3	0	0	0	1	0	0	1	0

問8－2 「相談しない」主な理由はなんですか。(〇は三つまで)

問8－1の「相談しない」と答えた方の内、「相談する必要性を感じない」(25.5%)が最も多く、次いで「面倒である」(19.0%)、「相談するのに気が引ける」(17.4%)となっています。

選択肢	回答者	構成比	
相談窓口がわからない	21	11.4%	11.4%
相談するのに気が引ける	32	17.4%	17.4%
相談窓口が遠い	11	6.0%	6.0%
個人情報の扱いに不安がある	19	10.3%	10.3%
面倒である	35	19.0%	19.0%
相談する必要性を感じない	47	25.5%	25.5%
その他	19	10.3%	10.3%
合計	184	100.0%	

【「その他」の回答】

- なかなか状況を理解してもらえないと思うから。(30歳代 女性)
- わかってもらえない。(10～20歳代)
- 自分で判断できる。(75歳以上 男性)
- 相談してもどうにもならない。(60歳代 女性)
- 結局は自分で解決するしかない。(75歳以上 女性)
- 聞いてもらえたと感じた経験が少なく、無駄に思える。(10～20歳代 女性)
- 時間がない。(50歳代 女性)

【問8-2】「相談しない」主な理由はなんですか。（○は三つまで）

・単位：回答者数 ・「その他」「無回答」は非表示		回答者数	相談窓口がわからない	相談するのに気が引ける	相談窓口が遠い	個人情報の扱いに不安がある	面倒である	相談する必要性を感じない
全体		165	21	32	11	19	35	47
年齢	10～20歳代	26	4	6	3	1	7	5
	30歳代	19	2	4	0	2	6	5
	40歳代	17	2	2	1	2	6	4
	50歳代	13	2	3	0	0	1	7
	60歳代	16	2	4	0	2	4	4
	70～74歳	17	1	2	3	1	2	8
	75歳以上	57	8	11	4	11	9	14
性別	男性	91	14	19	7	9	16	26
	女性	66	7	13	4	6	17	19
	どちらでもない	0	0	0	0	0	0	0
居住地区	中央地区（本庁）	16	1	1	1	0	6	7
	渡利地区（立子山を含む）	7	1	1	0	2	0	3
	杉妻地区	9	1	2	0	1	2	3
	蓬萊地区	1	0	0	0	0	0	1
	清水地区	26	4	2	1	5	7	7
	東部地区（大波を含む）	8	1	1	1	0	2	3
	北信地区	19	3	6	2	3	2	3
	吉井田地区	6	2	3	0	0	0	1
	西地区（土湯を含む）	5	2	2	0	1	0	0
	飯坂地区（茂庭を含む）	12	1	3	2	0	4	2
	信陵地区	9	0	1	1	2	3	2
	松川地区	17	1	4	0	2	4	6
	信夫地区	8	1	1	1	0	1	4
	吾妻地区	15	2	3	1	1	4	4
	飯野地区	2	0	1	0	0	0	1
職業	正規の社員・職員	45	6	8	3	3	11	14
	派遣・嘱託・契約社員	7	1	1	1	1	1	2
	パート・アルバイト	11	0	2	0	2	4	3
	自営業（家事手伝い含む）	15	3	0	1	2	3	6
	会社役員	4	1	1	0	0	0	2
	学生	5	1	1	0	0	2	1
	専業主婦・主夫	15	2	4	0	1	4	4
	無職	63	7	15	6	10	10	15
	単身世帯	20	1	5	4	2	4	4
家族構成	1世代世帯	50	9	10	2	7	8	14
	2世代世帯	78	11	17	5	6	17	22
	3世代世帯	10	0	0	0	2	4	4
	持ち家（一戸建て）	113	15	22	7	9	23	37
居住形態	持ち家（集合住宅）	8	0	1	0	2	3	2
	民間賃貸（一戸建て）	9	0	1	0	2	2	4
	民間賃貸（集合住宅）	31	6	7	3	4	7	4
	公営住宅（市営・県営等）	4	0	1	1	2	0	0
	社宅・公務員住宅等	0	0	0	0	0	0	0

問9 地域の催しや行事、活動などに参加していますか。(〇は一つ)

「全く参加していない」(34.3%)が最も多く、3割以上を占めています。次いで「たまに参加している」(27.2%)、「あまり参加していない」(24.8%)となっています。

選択肢	回答者	構成比	
よく参加している	121	12.5%	12.5%
たまに参加している	263	27.2%	27.2%
あまり参加していない	240	24.8%	24.8%
全く参加していない	331	34.3%	34.3%
無回答	11	1.1%	1.1%
合計	966	100.0%	

【問9】地域の催しや行事、活動などに参加していますか。（〇は一つ）

・単位：回答者数 ・「その他」「無回答」は非表示		回答者数	よく参加している	たまに参加している	あまり参加していない	全く参加していない
全体		955	121	263	240	331
年齢	10～20歳代	128	4	21	29	74
	30歳代	102	6	30	30	36
	40歳代	156	12	40	40	64
	50歳代	144	17	39	36	52
	60歳代	146	20	44	50	32
	70～74歳	78	21	29	11	17
	75歳以上	201	41	60	44	56
性別	男性	421	58	121	106	136
	女性	522	61	137	133	191
	どちらでもない	1	0	1	0	0
居住地区	中央地区（本庁）	124	12	32	31	49
	渡利地区（立子山を含む）	68	13	18	13	24
	杉妻地区	43	3	8	9	23
	蓬萊地区	29	6	13	4	6
	清水地区	104	10	31	23	40
	東部地区（大波を含む）	46	7	12	14	13
	北信地区	100	15	36	23	26
	吉井田地区	49	4	6	12	27
	西地区（土湯を含む）	29	5	3	8	13
	飯坂地区（茂庭を含む）	65	9	20	19	17
	信陵地区	52	5	20	16	11
	松川地区	50	8	14	10	18
	信夫地区	88	6	20	29	33
	吾妻地区	79	9	23	24	23
	飯野地区	18	6	6	4	2
職業	正規の社員・職員	317	20	82	79	136
	派遣・嘱託・契約社員	45	4	8	10	23
	パート・アルバイト	116	7	34	40	35
	自営業（家事手伝い含む）	63	15	25	14	9
	会社役員	22	8	6	4	4
	学生	34	1	5	13	15
	専業主婦・主夫	115	20	35	26	34
	無職	239	45	67	53	74
家族構成	単身世帯	125	13	31	24	57
	1世代世帯	296	44	70	74	108
	2世代世帯	454	49	139	123	143
	3世代世帯	61	11	21	12	17
居住形態	持ち家（一戸建て）	697	108	211	183	195
	持ち家（集合住宅）	44	5	9	10	20
	民間賃貸（一戸建て）	32	2	8	10	12
	民間賃貸（集合住宅）	134	2	19	27	86
	公営住宅（市営・県営等）	22	2	9	4	7
	社宅・公務員住宅等	14	0	3	4	7

問9－1 地域で主にどのような催しや行事、活動に参加していますか。(〇は三つまで)

問9で「よく参加している」「たまに参加している」と答えた方の内、「町内会行事・清掃活動」(44.7%)が最も多く、次いで「地域でのお祭り(夏祭り、花火大会、例大祭など)」(29.1%)となっています。

選択肢	回答者	構成比	
地域でのお祭り(夏祭り、花火大会、例大祭 など)	224	29.1%	29.1%
地区運動会	60	7.8%	7.8%
町内会行事・清掃活動	344	44.7%	44.7%
地域のサークル、コミュニティ、サロン活動	41	5.3%	5.3%
老人クラブ活動	28	3.6%	3.6%
学習センター主催の各種行事・講座	53	6.9%	6.9%
その他	20	2.6%	2.6%
合計	770	100.0%	

【「その他」の回答】

- 同じ趣味を持つ人とのイベントを自分で主催している。(50歳代 女性)
- 学習センターの登録団体で週1回活動している。(75歳以上 男性)

【問9-1】地域で主にどのような催しや行事、活動に参加していますか。（〇は三つまで）

・単位：回答者数 ・「その他」「無回答」は非表示		回答者数	地域でのお祭り	地区運動会	町内会行事・清掃活動	地域のサークル、コミュニティ、サロン活動	老人クラブ活動	学習センター主催の各種行事・講座
全体		750	224	60	344	41	28	53
年齢	10～20歳代	40	21	5	11	2	0	1
	30歳代	70	33	7	21	3	0	6
	40歳代	107	42	13	46	3	0	3
	50歳代	109	34	14	55	2	0	4
	60歳代	116	30	6	66	5	1	8
	70～74歳	97	23	5	45	10	5	9
	75歳以上	211	41	10	100	16	22	22
性別	男性	352	102	30	179	16	13	12
	女性	387	118	29	159	25	15	41
	どちらでもない	1	0	0	1	0	0	0
居住地区	中央地区（本庁）	74	35	2	28	4	1	4
	渡利地区（立子山を含む）	61	17	4	28	4	4	4
	杉妻地区	28	10	4	11	0	0	3
	蓬萊地区	35	5	0	20	2	3	5
	清水地区	77	16	5	43	5	1	7
	東部地区（大波を含む）	41	10	5	20	1	3	2
	北信地区	92	27	8	44	3	4	6
	吉井田地区	23	10	1	9	0	1	2
	西地区（土湯を含む）	18	6	4	7	0	0	1
	飯坂地区（茂庭を含む）	53	13	7	28	2	1	2
	信陵地区	43	7	1	26	4	2	3
	松川地区	45	16	5	16	2	4	2
	信夫地区	51	20	3	17	5	2	4
	吾妻地区	69	17	7	33	5	1	6
	飯野地区	30	11	1	11	4	1	2
職業	正規の社員・職員	200	77	23	87	4	1	8
	派遣・嘱託・契約社員	16	1	1	12	1	0	1
	パート・アルバイト	81	20	4	42	5	0	10
	自営業（家事手伝い含む）	76	24	7	36	2	3	4
	会社役員	32	12	4	13	2	0	1
	学生	11	8	2	1	0	0	0
	専業主婦・主夫	104	31	6	41	12	3	11
	無職	226	50	12	111	14	21	18
家族構成	単身世帯	77	19	7	33	5	7	6
	1世代世帯	216	57	14	112	13	8	12
	2世代世帯	375	127	32	160	19	11	26
	3世代世帯	66	18	6	31	4	1	6
居住形態	持ち家（一戸建て）	635	175	49	308	32	26	45
	持ち家（集合住宅）	23	13	1	6	1	0	2
	民間賃貸（一戸建て）	25	7	3	10	2	2	1
	民間賃貸（集合住宅）	33	18	2	6	3	0	4
	公営住宅（市営・県営等）	20	4	1	13	2	0	0
	社宅・公務員住宅等	7	3	1	1	1	0	1

問9-2 催しや行事、活動に「参加していない」一番の理由は何ですか。(〇は一つ)

問9で「あまり参加していない」「全く参加していない」と答えた方の内、「参加する時間がない」(29.8%)が最も多く、次いで「参加したい催しや行事、活動がない」(28.2%)、「催しや行事、活動を知らない」(20.3%)となっています。

選択肢	回答者	構成比	
参加する時間がない	170	29.8%	29.8%
催しや行事、活動を知らない	116	20.3%	20.3%
参加したい催しや行事、活動がない	161	28.2%	28.2%
交通手段がない	14	2.5%	2.5%
その他	73	12.8%	12.8%
無回答	37	6.5%	6.5%
合計	571	100.0%	

【「その他」の回答】

- 地域のコミュニティに入りにくい。(10～20歳代 女性)
- 一緒に参加する知り合いがない。(10～20歳代 男性)
- 催し物、行事に興味がない。(10～20歳代 男性)
- 障がいがあるため。(10～20歳代 男性)
- 関わりたくない。(50歳代 男性)
- 区分けが煩雑な地域のため、お知らせが届かない。コミュニティ外の告知がくる。学区と地域区分が合わない。(30歳代 男性)
- 参加したくない。(75歳以上 男性)
- 参加するほどの付き合いがない。(50歳代 女性)
- 障害がありコミュニケーションをとるのが苦手。(10～20歳代 男性)
- 町会では、高齢者が役員になり、数十年前と同じことを続けているだけ。そのため興味も関心もない。町会の区域に前から住んでいる人と新しく移り住んでいる人の区別が激しい。(75歳以上 男性)
- 子供が小さな頃は参加していたが、今はあまり参加していない。(50歳代 女性)
- 町内会に入っていない。(60歳代 男性)
- 初めての場所に行く(参加する)ことが少し苦手なため、行動(参加)しにくい。(30歳代 女性)
- 人とのつながりがめんどろ。(70～74歳 女性)

【問9-2】催しや行事、活動に「参加していない」一番の理由はなんですか。(○は一つ)

・単位：回答者数 ・「その他」「無回答」は非表示		回答者数	参加する時間がない	催しや行事、活動を知らない	参加したい催しや行事、活動がない	交通手段がない
全体		461	170	116	161	14
年齢	10～20歳代	92	36	33	23	0
	30歳代	57	21	18	18	0
	40歳代	92	43	22	27	0
	50歳代	76	31	17	28	0
	60歳代	68	30	10	27	1
	70～74歳	24	6	4	11	3
	75歳以上	52	3	12	27	10
性別	男性	194	67	55	67	5
	女性	263	102	60	92	9
	どちらでもない	0	0	0	0	0
居住地区	中央地区（本庁）	66	23	22	20	1
	渡利地区（立子山を含む）	31	15	7	9	0
	杉妻地区	26	13	7	5	1
	蓬萊地区	8	5	1	2	0
	清水地区	50	14	11	23	2
	東部地区（大波を含む）	19	7	2	9	1
	北信地区	40	15	13	11	1
	吉井田地区	33	7	14	11	1
	西地区（土湯を含む）	16	8	3	4	1
	飯坂地区（茂庭を含む）	30	12	5	12	1
	信陵地区	25	12	3	9	1
	松川地区	23	13	4	4	2
	信夫地区	50	13	14	22	1
	吾妻地区	33	9	8	16	0
	飯野地区	2	2	0	0	0
職業	正規の社員・職員	193	93	57	43	0
	派遣・嘱託・契約社員	32	10	8	14	0
	パート・アルバイト	61	31	5	25	0
	自営業（家事手伝い含む）	17	11	4	2	0
	会社役員	8	4	2	2	0
	学生	25	10	11	4	0
	専業主婦・主夫	46	7	10	26	3
	無職	78	4	19	44	11
家族構成	単身世帯	64	25	20	13	6
	1世代世帯	145	36	42	63	4
	2世代世帯	222	96	49	74	3
	3世代世帯	24	11	4	8	1
居住形態	持ち家（一戸建て）	290	111	45	122	12
	持ち家（集合住宅）	26	12	6	8	0
	民間賃貸（一戸建て）	20	6	9	5	0
	民間賃貸（集合住宅）	104	36	47	19	2
	公営住宅（市営・県営等）	8	2	2	4	0
	社宅・公務員住宅等	10	2	6	2	0

3 地域での支え合い・助け合いについて

問10 地域でのボランティア活動等に参加していますか。(〇は一つ)

「全く参加していない」(63.5%)が最も多く、全体の6割以上を占めています。次いで、「あまり参加していない」(16.5%)、「たまに参加している」(12.9%)となっています。

選択肢	回答者	構成比
よく参加している	50	5.2%
たまに参加している	125	12.9%
あまり参加していない	159	16.5%
全く参加していない	613	63.5%
無回答	19	2.0%
合計	966	100.0%

【問10】地域でのボランティア活動等に参加していますか。(〇は一つ)

・単位：回答者数 ・「その他」「無回答」は非表示		回答者数	よく参加している	たまに参加している	あまり参加していない	全く参加していない
全体		947	50	125	159	613
年齢	10～20歳代	128	1	5	14	108
	30歳代	105	0	9	17	79
	40歳代	157	4	19	28	106
	50歳代	143	2	14	31	96
	60歳代	147	14	25	34	74
	70～74歳	77	10	13	10	44
	75歳以上	190	19	40	25	106
性別	男性	419	28	67	77	247
	女性	516	22	57	81	356
	どちらでもない	1	0	0	0	1
居住地区	中央地区（本庁）	127	2	17	23	85
	渡利地区（立子山を含む）	69	5	11	11	42
	杉妻地区	43	2	4	3	34
	蓬萊地区	28	4	3	7	14
	清水地区	104	3	14	22	65
	東部地区（大波を含む）	46	3	4	10	29
	北信地区	96	10	7	17	62
	吉井田地区	49	1	4	4	40
	西地区（土湯を含む）	27	2	3	6	16
	飯坂地区（茂庭を含む）	66	3	11	11	41
	信陵地区	53	1	14	5	33
	松川地区	48	1	8	11	28
	信夫地区	89	6	9	16	58
	吾妻地区	75	5	11	7	52
	飯野地区	17	2	4	6	5
職業	正規の社員・職員	319	7	28	58	226
	派遣・嘱託・契約社員	45	2	3	6	34
	パート・アルバイト	116	4	14	23	75
	自営業（家事手伝い含む）	63	6	20	12	25
	会社役員	22	5	4	2	11
	学生	33	0	3	6	24
	専業主婦・主夫	115	6	17	20	72
	無職	230	19	36	31	144
家族構成	単身世帯	127	3	11	21	92
	1世代世帯	294	19	37	45	193
	2世代世帯	447	21	64	83	279
	3世代世帯	62	6	9	9	38
居住形態	持ち家（一戸建て）	685	46	109	123	407
	持ち家（集合住宅）	45	2	5	8	30
	民間賃貸（一戸建て）	35	1	3	8	23
	民間賃貸（集合住宅）	135	0	4	13	118
	公営住宅（市営・県営等）	21	1	3	3	14
	社宅・公務員住宅等	14	0	0	3	11

問10-1 主にどのようなボランティア活動等に参加していますか。(〇は三つまで)

問10で「よく参加している」「たまに参加している」と答えた方の内、「環境美化・衛生に関する活動」(32.2%)が最も多く、次いで「防災や防犯、交通安全等に関する活動」(14.4%)、「高齢者に関する活動」(12.9%)となっています。

選択肢	回答者	構成比	
高齢者に関する活動	42	12.9%	12.9%
障がい者に関する活動	10	3.1%	3.1%
子育てに関する活動	11	3.4%	3.4%
保健・医療に関する活動	11	3.4%	3.4%
青少年に関する活動	13	4.0%	4.0%
環境美化・衛生に関する活動	105	32.2%	32.2%
文化芸術活動に関する活動	16	4.9%	4.9%
スポーツに関する活動	36	11.0%	11.0%
防災や防犯、交通安全等に関する活動	47	14.4%	14.4%
被災者に対する活動	4	1.2%	1.2%
国際交流に関する活動	3	0.9%	0.9%
その他	28	8.6%	8.6%
合計	326	100.0%	

【「その他」の回答】

- ももりん体操のスタッフ (70～74歳 女性)
- ロータリークラブで社会奉仕、職業奉仕、薬物指導員 (75歳以上 男性)
- 地域間交流の手助け(特に高齢者間) (75歳以上 女性)
- 墓掃除 (70～74歳 男性)
- 小学校の生徒に地域の歴史等の講習 (75歳以上 男性)
- 小学校での読み聞かせ (75歳以上 女性)

【問10-1】主にどのようなボランティア活動等に参加していますか。（○は三つまで）

・単位：回答者数 ・「その他」「無回答」は非表示		回答者数	高齢者に関する活動	障がい者に関する活動	子育てに関する活動	動 保 健・医療に関する活動	青少年に関する活動	環境美化・衛生に関する活動	文化芸術活動に関する活動	スポーツに関する活動	防災や防犯、交通安全等に関する活動	被災者に対する活動	国際交流に関する活動
全体		298	42	10	11	11	13	105	16	36	47	4	3
年 齢	10～20歳代	8	0	1	0	0	0	7	0	0	0	0	0
	30歳代	15	1	0	2	1	0	7	0	3	1	0	0
	40歳代	36	1	1	2	0	3	15	1	8	4	1	0
	50歳代	34	1	2	2	0	3	15	2	5	2	0	2
	60歳代	60	7	5	5	1	4	16	4	6	11	0	1
	70～74歳	37	8	0	0	1	1	12	3	3	9	0	0
	75歳以上	108	24	1	0	8	2	33	6	11	20	3	0
性 別	男性	168	21	5	0	6	6	62	6	26	32	3	1
	女性	127	21	5	11	5	7	41	10	10	15	0	2
	どちらでもない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
居 住 地 区	中央地区（本庁）	34	5	2	2	1	2	13	1	4	2	1	1
	渡利地区（立子山を含む）	24	6	2	0	0	1	12	0	1	2	0	0
	杉妻地区	13	2	0	0	0	0	3	1	4	3	0	0
	蓬萊地区	14	2	0	0	2	0	5	0	3	2	0	0
	清水地区	30	2	1	3	0	1	13	2	2	4	1	1
	東部地区（大波を含む）	18	3	0	1	0	2	3	0	4	4	0	1
	北信地区	27	2	1	0	0	3	11	2	4	3	1	0
	吉井田地区	11	1	0	0	1	0	4	1	0	4	0	0
	西地区（土湯を含む）	8	3	0	0	0	0	2	1	1	1	0	0
	飯坂地区（茂庭を含む）	22	3	1	2	2	1	4	2	3	4	0	0
	信陵地区	18	3	0	0	1	0	6	2	1	4	1	0
	松川地区	16	1	0	0	0	0	9	1	2	3	0	0
	信夫地区	25	4	0	3	2	1	7	2	2	4	0	0
	吾妻地区	20	1	0	0	1	1	9	1	4	3	0	0
	飯野地区	14	4	2	0	1	1	3	0	0	3	0	0
職 業	正規の社員・職員	62	2	0	3	1	3	30	2	11	7	1	2
	派遣・嘱託・契約社員	8	1	0	0	0	0	4	0	3	0	0	0
	パート・アルバイト	25	1	0	3	1	1	12	1	4	1	0	1
	自営業（家事手伝い含む）	39	3	0	1	1	2	12	5	3	11	1	0
	会社役員	14	0	1	1	0	3	4	1	0	4	0	0
	学生	4	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0
	専業主婦・主夫	38	11	3	3	1	2	7	3	3	5	0	0
	無職	106	22	5	0	7	2	33	4	12	19	2	0
家 族 構 成	単身世帯	28	4	4	0	3	0	7	3	3	3	1	0
	1世代世帯	97	17	2	4	3	2	31	2	17	16	1	2
	2世代世帯	136	18	3	5	3	7	57	8	11	22	1	1
	3世代世帯	28	1	1	2	2	4	7	3	3	5	0	0
居 住 形 態	持ち家（一戸建て）	257	37	6	10	9	10	90	14	32	45	2	2
	持ち家（集合住宅）	9	0	1	1	1	1	2	1	0	1	0	1
	民間賃貸（一戸建て）	11	2	1	0	0	1	4	0	2	1	0	0
	民間賃貸（集合住宅）	11	0	1	0	1	1	5	0	2	0	1	0
	公営住宅（市営・県営等）	7	2	1	0	0	0	3	1	0	0	0	0
	社宅・公務員住宅等	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0

問10-2 参加した主なきっかけはなんですか。(〇は三つまで)

問10で「よく参加している」「たまに参加している」と答えた方の内、「身近な地域をよりよくしたいから」(18.7%)が最も多く、次いで「地域でのつながりや交流の機会を増やしたいから」(17.2%)、「社会や人の役に立ちたいから」(13.9%)となっています。

選択肢	回答者	構成比	
社会や人の役に立ちたいから	58	13.9%	13.9%
身近な地域をよりよくしたいから	78	18.7%	18.7%
自分の知識や経験を活かしたいから	27	6.5%	6.5%
楽しそうだから	19	4.5%	4.5%
地域でのつながりや交流の機会を増やしたいから	72	17.2%	17.2%
知人・友人等に誘われたから	33	7.9%	7.9%
周りの人がやっているから	17	4.1%	4.1%
持ち回りなどで頼まれたから	42	10.0%	10.0%
地域住民としての義務だと思ったから	53	12.7%	12.7%
その他	19	4.5%	4.5%
合計	418	100.0%	

【「その他」の回答】

- 強制参加 (50歳代 男性)
- 健康、体力維持、ストレス解消、学生時代からの友人の誘い (60歳代 男性)
- 役員活動の一環として行っている。 (75歳以上 女性)
- 夫、子ども達が卒業した小学校より声がかかり、読み聞かせを30年間続けている。(75歳以上 女性)

【問10-2】参加した主なきっかけはなんですか。（〇は三つまで）

・単位：回答者数 ・「その他」「無回答」は非表示		回答者数	社会や人の役に立ちたいから	身近な地域をよりよくしたいから	自分の知識や経験を活かしたいから	楽しそうだから	地域のつながりや交流の機会を増やしたいから	知人・友人等に誘われたから	周りの人がやっているから	持ち回りなどで頼まれたから	地域住民としての義務だと思ったから
全体		399	58	78	27	19	72	33	17	42	53
年齢	10～20歳代	16	3	3	1	0	3	1	2	1	2
	30歳代	17	0	0	0	2	2	5	2	4	2
	40歳代	52	4	10	2	7	7	3	5	7	7
	50歳代	39	6	7	1	1	6	4	4	4	6
	60歳代	78	13	17	5	4	14	5	1	10	9
	70～74歳	46	5	10	4	1	9	5	2	4	6
	75歳以上	151	27	31	14	4	31	10	1	12	21
性別	男性	232	35	51	16	7	35	18	9	29	32
	女性	162	22	26	11	12	36	15	8	13	19
	どちらでもない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
居住地区	中央地区（本庁）	46	9	9	1	2	5	5	3	5	7
	渡利地区（立子山を含む）	22	4	6	1	0	5	1	0	2	3
	杉妻地区	15	1	4	2	2	5	0	0	0	1
	蓬萊地区	14	4	1	3	1	2	0	1	0	2
	清水地区	45	8	9	3	2	8	4	0	4	7
	東部地区（大波を含む）	16	3	4	3	0	1	3	0	1	1
	北信地区	37	2	8	3	1	10	2	1	3	7
	吉井田地区	14	5	2	1	0	1	2	2	1	0
	西地区（土湯を含む）	20	3	3	1	1	7	0	1	3	1
	飯坂地区（茂庭を含む）	26	4	3	1	3	4	3	1	3	4
	信陵地区	33	2	8	1	1	6	1	3	6	5
	松川地区	25	3	6	1	0	7	2	0	4	2
	信夫地区	37	5	4	2	4	6	5	4	3	4
	吾妻地区	30	3	7	3	2	2	1	1	3	8
	飯野地区	16	2	4	1	0	2	3	0	3	1
職業	正規の社員・職員	84	7	13	2	6	9	12	9	15	11
	派遣・嘱託・契約社員	15	1	3	0	1	3	1	1	2	3
	パート・アルバイト	34	4	4	3	2	6	1	1	5	8
	自営業（家事手伝い含む）	50	5	15	4	1	5	3	2	8	7
	会社役員	18	6	3	2	0	3	1	0	0	3
	学生	10	3	2	1	0	3	1	0	0	0
	専業主婦・主夫	43	3	5	3	6	12	6	2	2	4
	無職	142	27	33	11	3	31	8	2	10	17
家族構成	単身世帯	37	4	6	4	3	5	2	2	5	6
	1世代世帯	130	20	26	11	6	26	11	4	12	14
	2世代世帯	186	25	36	9	7	33	16	9	22	29
	3世代世帯	35	6	9	2	3	4	4	2	3	2
居住形態	持ち家（一戸建て）	345	48	68	25	17	66	29	13	36	43
	持ち家（集合住宅）	15	4	2	1	1	0	1	1	3	2
	民間賃貸（一戸建て）	17	3	3	1	1	1	2	1	1	4
	民間賃貸（集合住宅）	12	2	3	0	0	2	1	1	2	1
	公営住宅（市営・県営等）	8	0	2	0	0	3	0	0	0	3
	社宅・公務員住宅等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

**問10-3 地域でのボランティア活動を通して、地域のために役立っていることがあれば
ご記入ください。(自由記載)**

- 朝の交通安全を交差点で呼びかけ、地域の安全確保を図った。
(70～74歳 男性)
- 幅広い年代との面識が広がった。ほとんどが年上だが…。 (50歳代 男性)
- クリーン活動、子育て支援。 (60歳代 女性)
- 地域の方との交流につながった。 (30歳代 女性)
- 花壇整備、ごみ拾いなど (50歳代 男性)
- 一人暮らし高齢者の話し相手になることで、地域の安心につながった。
(60歳代 女性)
- ごみ置き場の清掃をしている。登下校する子供達が挨拶をし、利用するご近所の方に感謝して頂いた。仕事や留守をしている都合で、出来ない時は、誰かがやって下さるようになり、いつもキレイな状態になった。 (50歳代 男性)
- 時々、道路わきの草むしりを実施し、町内の美化に努めている。 (60歳代 男性)
- 施設やボランティア団体への些少の金額の寄附により多少なりとも役に立ててもらいたい。 (75歳以上 男性)
- 高齢者の活動の場が少ない為に寿会を通じて、集まりの場を作っている。
(75歳以上 男性)
- 週1回のももりん体操ですが、それをきっかけに会話、交流、情報交換などに発展している。1人暮らしで困っている人へのささやかな協力になっている。
(70～74歳 女性)
- 頻繁に通う道路沿いのゴミ拾いを仲間と実施し、環境美化に努めた。町内から頼まれる講演会では、住民に身近な健康問題をわかり易く話した。 (75歳以上 男性)
- 地域の歴史、人、物語の発掘し、広報すること。 (75歳以上 男性)
- 下校時の小学生児童を対象とした見守り活動を行って10年になる。ポイ捨てのない美しいまちづくり運動に取り組んでいる。町会長の立場上、町会行事はもとより地区行事は勿論のこと、全ての関係機関との情報を共有し、参加協力している。そのため多忙である。 (75歳以上 男性)
- 春夏秋冬の交通安全週間の街頭活動(交通安全母の会) (70～74歳 女性)
- 交通などの公道が雑草木で通れない箇所を見つけると草刈機を持ち出して処理している。ごみ集積所の分別(資源ごみ)を続けている。 (75歳以上 男性)
- コロナが少し落ち着いている現在、以前とは交流回数は少ないが、高齢者間の仲間意識が高まり話し合いの場をもっている。このことは、いきいきとした健康(心と体)づくりと支え合う意識につながっていると思う。 (75歳以上 女性)
- ボランティアとは少し異なりますが、子ども劇場会員として、子どもの育ちに関わる活動をしています。あまり見る機会の少ない人形劇などを観る場をつくり、子どもの心を

動かす体験の場となっています。子どもの笑顔そして周りも笑顔になる姿を見ると、幸せな気持ちになります。（４０歳代 女性）

- 視覚障がい者のための読書サポート活動、文化イベントで地域を盛り上げる活動。
（６０歳代 男性）
- 学童見守りを行い防犯活動と、地域の子供たちとの挨拶を楽しく身に付けてもらうようにしている。（７０～７４歳 男性）
- 一人暮らしの高齢者の安否確認しながら訪問活動したり、サロンを開催したりとボランティア部員として活動している。（７０～７４歳 女性）
- 子ども達の心が少しでも豊かになるように、また本に興味を持つようにと本を選ぶことに力を注いでいる。学校としては地域との交流を大事にしている。町会の役員、環境衛生部長をやり、花壇に花を植えたりゴミ集積所のネット交換、集積所の場所作りなど活動した。（７５歳以上 女性）
- 町内の婦人部で敬老の日にお赤飯配り。集会所の清掃。
（６０歳代 女性）

問10-4 「参加していない」主な理由はなんですか。(〇は三つまで)

問10で「あまり参加していない」「全く参加していない」と答えた方の内、「ボランティア活動等に関する情報がない」(24.2%)が最も多く、次いで「自分の趣味や自由な時間を優先したい」(21.6%)、「体力的に参加することが難しい」(16.3%)となっています。

選択肢	回答者	構成比	
体力的に参加することが難しい	178	16.3%	16.3%
自分の趣味や自由な時間を優先したい	236	21.6%	21.6%
ボランティア活動等に関する情報がない	264	24.2%	24.2%
地域の人と交流することに気が進まない	95	8.7%	8.7%
興味のあるボランティア活動等がない	98	9.0%	9.0%
ボランティア活動等に興味がない	107	9.8%	9.8%
その他	113	10.4%	10.4%
合計	1091	100.0%	

【「その他」の回答】

- どんなボランティアがあるかわからない。(40歳代 女性)
- 子どもを見てくれる人がいない。(30歳代 女性)
- 子育て中でそこまで気がまわらない。(40歳代 女性)
- 子どもと過ごす時間にしたい。(40歳代 女性)
- したい気持ちがあっても、自分のことでいっぱいだから。(30歳代 女性)
- 仕事が忙しく時間がない。(40歳代 女性)
- ボランティアに参加したい気持ちはあるが、どんなボランティアがあるか情報が入ってこない。(40歳代 女性)
- 協力する気持ちはあるが、行動に出せていない。(40歳代 男性)
- 仕事で参加する時間が合わない。家族の介護、看病などで外出できない。(50歳代 女性)
- 孫の育児の手伝い。(50歳代 男性)
- わざわざ自分で調べて参加しようと思わない。(10～20歳代 男性)
- 関わりたくない。(50歳代 女性)
- 自分の金に四苦八苦しているのに、無料で人に奉仕する意味が分からない。(30歳代 男性)
- 参加する理由がわからない。(75歳以上 男性)
- 気の合う人がいない。(75歳以上 男性)
- 母親の介護でボランティアに割く時間があまりない。(50歳代 女性)
- 参加してみたいが参加する勇気がない。(30歳代 女性)

- 地域の人と交流する事がない。（６０歳代 女性）
- 休みが不規則（３０歳代 男性）
- 来年の３月で仕事をやめて、４月からボランティア活動をする。（６０歳代 女性）
- きっかけがない。（６０歳代 女性）
- 仕事をしていたからつながりがなかった。（６０歳代 女性）
- 子どもに手がかかり参加できない。（４０歳代 女性）
- 仕事と家のことで手いっぱいボランティアに割く余裕がない。（４０歳代 女性）
- 金銭面や時間的にも全く余裕がないから。（１０～２０歳代 男性）
- 町内会に入っていない。（６０歳代 男性）
- ご近所に仲の良い人がいないので行きにくい。知っている人がいないので会話が不安。（３０歳代 女性）
- 最終的には責任が持てないから。（７５歳以上 女性）
- お知らせがないので、いつやっているのか分からない。（３０歳代 女性）
- ボランティア活動が分からないためあれば参加してもよい。（５０歳代 女性）

【問10-4】「参加していない」主な理由はなんですか。（〇は三つまで）

・単位：回答者数 ・「その他」「無回答」は非表示		回答者数	が体力的に 参加すること	自分の趣味や自由な 時間を優先したい	ボランティア活動等に 関する情報が ない	地域の人と交流するこ とに気が進まない	興味のあるボラン ティア活動等がない	ボラン ティア活動等に 興味がない
全体		978	178	236	264	95	98	107
年齢	10～20歳代	162	5	51	51	16	16	23
	30歳代	125	3	41	31	18	10	22
	40歳代	176	12	43	59	19	21	22
	50歳代	138	17	31	47	15	12	16
	60歳代	131	26	32	37	10	18	8
	70～74歳	75	18	14	17	7	10	9
	75歳以上	171	97	24	22	10	11	7
性別	男性	421	69	103	106	31	51	61
	女性	541	106	129	155	62	46	43
	どちらでもない	2	0	1	1	0	0	0
居住地区	中央地区（本庁）	126	15	36	40	10	10	15
	渡利地区（立子山を含む）	71	7	22	18	5	10	9
	杉妻地区	50	9	17	10	1	7	6
	蓬萊地区	22	5	4	4	2	5	2
	清水地区	120	21	31	32	12	10	14
	東部地区（大波を含む）	53	11	14	15	2	6	5
	北信地区	91	17	25	29	8	7	5
	吉井田地区	63	13	14	15	10	8	3
	西地区（土湯を含む）	25	4	6	5	4	3	3
	飯坂地区（茂庭を含む）	69	18	16	15	7	7	6
	信陵地区	42	9	8	12	6	2	5
	松川地区	48	11	6	13	6	6	6
	信夫地区	94	14	19	23	13	8	17
	吾妻地区	84	20	14	25	7	8	10
	飯野地区	9	2	3	4	0	0	0
職業	正規の社員・職員	344	18	105	118	30	27	46
	派遣・嘱託・契約社員	54	4	12	18	6	7	7
	パート・アルバイト	125	15	33	33	18	16	10
	自営業（家事手伝い含む）	45	7	13	10	4	6	5
	会社役員	15	0	2	7	2	2	2
	学生	39	1	12	11	2	7	6
	専業主婦・主夫	112	31	16	32	16	8	9
	無職	242	101	43	35	16	25	22
	単身世帯	138	31	39	30	7	14	17
家族構成	1世代世帯	297	67	64	70	32	30	34
	2世代世帯	472	66	113	142	50	49	52
	3世代世帯	53	10	16	18	4	3	2
	持ち家（一戸建て）	684	151	155	163	68	76	71
居住形態	持ち家（集合住宅）	42	3	12	18	4	4	1
	民間賃貸（一戸建て）	35	4	9	10	1	5	6
	民間賃貸（集合住宅）	169	10	47	58	19	10	25
	公営住宅（市営・県営等）	23	6	7	5	2	1	2
	社宅・公務員住宅等	16	1	5	9	0	0	1

問１１ 地域の人に支えられた（助けられた）と感じたことはありますか。（○は一つ）

「ある」（４１．４％）が最も多く、次いで「ない」（３１．５％）、「わからない」（２０．０％）となっています。

選択肢	回答者	構成比	
ある	400	41.4%	41.4%
ない	304	31.5%	31.5%
助けを必要としていない	52	5.4%	5.4%
わからない	193	20.0%	20.0%
無回答	17	1.8%	1.8%
合計	966	100.0%	

【問11】 地域の人に支えられた（助けられた）と感じたことはありますか。（〇は一つ）

・単位：回答者数 ・「その他」「無回答」は非表示		回答者数	ある	ない	い助けを必要としていない	わからない
全体		949	400	304	52	193
年齢	10～20歳代	129	42	44	8	35
	30歳代	105	38	38	4	25
	40歳代	156	63	54	7	32
	50歳代	142	63	38	6	35
	60歳代	146	73	39	9	25
	70～74歳	78	34	22	5	17
	75歳以上	193	87	69	13	24
性別	男性	420	156	158	27	79
	女性	517	239	142	25	111
	どちらでもない	1	0	0	0	1
居住地区	中央地区（本庁）	125	49	38	16	22
	渡利地区（立子山を含む）	68	31	22	4	11
	杉妻地区	43	17	15	1	10
	蓬菜地区	29	5	10	5	9
	清水地区	102	36	42	2	22
	東部地区（大波を含む）	45	25	13	1	6
	北信地区	99	41	35	1	22
	吉井田地区	48	13	19	4	12
	西地区（土湯を含む）	29	18	6	1	4
	飯坂地区（茂庭を含む）	64	32	17	1	14
	信陵地区	53	24	18	1	10
	松川地区	48	24	11	2	11
	信夫地区	88	34	26	8	20
	吾妻地区	79	41	23	4	11
	飯野地区	18	8	3	1	6
職業	正規の社員・職員	319	124	113	21	61
	派遣・嘱託・契約社員	45	13	18	2	12
	パート・アルバイト	116	52	33	3	28
	自営業（家事手伝い含む）	62	36	13	4	9
	会社役員	22	10	6	2	4
	学生	34	12	9	1	12
	専業主婦・主夫	113	51	33	4	25
	無職	234	99	78	15	42
家族構成	単身世帯	127	53	41	7	26
	1世代世帯	293	114	105	23	51
	2世代世帯	449	199	135	20	95
	3世代世帯	62	26	18	0	18
居住形態	持ち家（一戸建て）	689	318	193	35	143
	持ち家（集合住宅）	45	12	16	8	9
	民間賃貸（一戸建て）	35	12	16	0	7
	民間賃貸（集合住宅）	134	36	66	8	24
	公営住宅（市営・県営等）	21	10	5	1	5
	社宅・公務員住宅等	14	6	7	0	1

問１２ 困りごとがあった場合、地域の人から手助けしてほしいですか。(〇は一つ)

「手助けしてほしい」(38.3%)が最も多く、次いで「わからない」(30.3%)、「自分で解決する」(26.1%)となっています。

選択肢	回答者	構成比	
手助けしてほしい	370	38.3%	38.3%
手助けしてほしくない	30	3.1%	3.1%
自分で解決する	252	26.1%	26.1%
わからない	293	30.3%	30.3%
無回答	21	2.2%	2.2%
合計	966	100.0%	

【問１２】困りごとがあった場合、地域の人から手助けしてほしいですか。（○は一つ）

・単位：回答者数 ・「その他」「無回答」は非表示		回答者数	手助けしてほしい	手助けしてほしくない	自分で解決する	わからない
全体		945	370	30	252	293
年齢	10～20歳代	129	44	6	40	39
	30歳代	105	34	3	34	34
	40歳代	156	57	5	36	58
	50歳代	144	48	2	30	64
	60歳代	146	60	5	44	37
	70～74歳	78	29	5	28	16
	75歳以上	187	98	4	40	45
性別	男性	418	153	14	129	122
	女性	516	214	16	120	166
	どちらでもない	1	0	0	0	1
居住地区	中央地区（本庁）	125	54	2	32	37
	渡利地区（立子山を含む）	66	27	1	17	21
	杉妻地区	41	14	0	11	16
	蓬萊地区	29	9	1	8	11
	清水地区	102	33	3	33	33
	東部地区（大波を含む）	46	24	2	10	10
	北信地区	97	40	2	24	31
	吉井田地区	48	10	4	17	17
	西地区（土湯を含む）	29	14	2	6	7
	飯坂地区（茂庭を含む）	64	35	0	15	14
	信陵地区	53	20	0	14	19
	松川地区	48	17	3	8	20
	信夫地区	87	30	3	24	30
	吾妻地区	78	34	2	23	19
	飯野地区	18	6	1	6	5
職業	正規の社員・職員	319	114	11	94	100
	派遣・嘱託・契約社員	45	15	1	13	16
	パート・アルバイト	116	46	1	22	47
	自営業（家事手伝い含む）	63	25	3	18	17
	会社役員	22	8	1	5	8
	学生	34	12	1	12	9
	専業主婦・主夫	114	44	2	30	38
	無職	228	103	10	58	57
家族構成	単身世帯	124	50	7	35	32
	1世代世帯	294	111	9	87	87
	2世代世帯	450	172	12	113	153
	3世代世帯	60	29	1	13	17
居住形態	持ち家（一戸建て）	682	286	23	170	203
	持ち家（集合住宅）	45	15	2	14	14
	民間賃貸（一戸建て）	35	9	1	11	14
	民間賃貸（集合住宅）	136	42	3	47	44
	公営住宅（市営・県営等）	21	7	0	7	7
	社宅・公務員住宅等	14	5	1	3	5

問13 困っている人を見かけた時、声かけや手助けをしたことはありますか。(〇は一つ)

「声かけや手助けをしたことがある」(60.9%)が最も多く、全体の6割以上を占めています。次いで「見かけたことがない」(28.1%)、「見かけたことはあるが、声かけや手助けをできなかった」(7.8%)となっています。

選択肢	回答者	構成比	
声かけや手助けをしたことがある	588	60.9%	60.9%
見かけたことはあるが、声かけや手助けをできなかった	75	7.8%	7.8%
見かけたとしても、声かけや手助けはしたくない	14	1.4%	1.4%
見かけたことがない	271	28.1%	28.1%
無回答	18	1.9%	1.9%
合計	966	100.0%	

【問13】困っている人を見かけた時、声かけや手助けをしたことはありますか。（〇は一つ）

・単位：回答者数 ・「その他」「無回答」は非表示		回答者数	声かけや手助けをしたことがある	声かけや手助けをしたが、できなかった	見かけたとしても、声かけや手助けはしなかった	見かけたことがない
全体		948	588	75	14	271
年齢	10～20歳代	129	65	12	7	45
	30歳代	105	61	16	0	28
	40歳代	154	95	15	2	42
	50歳代	144	95	13	2	34
	60歳代	147	109	4	1	33
	70～74歳	78	54	3	0	21
	75歳以上	191	109	12	2	68
性別	男性	419	251	32	8	128
	女性	517	331	41	5	140
	どちらでもない	1	1	0	0	0
居住地区	中央地区（本庁）	125	90	8	4	23
	渡利地区（立子山を含む）	68	43	5	1	19
	杉妻地区	42	21	4	0	17
	蓬萊地区	29	17	3	0	9
	清水地区	102	58	8	0	36
	東部地区（大波を含む）	44	32	2	0	10
	北信地区	98	65	9	0	24
	吉井田地区	48	35	4	0	9
	西地区（土湯を含む）	29	11	5	0	13
	飯坂地区（茂庭を含む）	66	46	3	0	17
	信陵地区	53	34	3	3	13
	松川地区	48	24	4	2	18
	信夫地区	89	46	12	3	28
	吾妻地区	77	47	4	0	26
	飯野地区	18	12	1	0	5
職業	正規の社員・職員	318	192	27	7	92
	派遣・嘱託・契約社員	44	27	7	0	10
	パート・アルバイト	117	79	6	2	30
	自営業（家事手伝い含む）	63	42	4	0	17
	会社役員	22	19	1	0	2
	学生	34	17	5	0	12
	専業主婦・主夫	114	75	8	0	31
	無職	233	134	17	5	77
家族構成	単身世帯	126	73	10	4	39
	1世代世帯	297	186	17	4	90
	2世代世帯	449	281	42	6	120
	3世代世帯	61	37	6	0	18
居住形態	持ち家（一戸建て）	689	437	59	4	189
	持ち家（集合住宅）	44	27	3	3	11
	民間賃貸（一戸建て）	34	20	0	1	13
	民間賃貸（集合住宅）	136	77	11	5	43
	公営住宅（市営・県営等）	20	16	0	0	4
	社宅・公務員住宅等	14	7	1	0	6

問14 災害がおきた時に、地域の方にどのような支援（手助け）ができますか。

（〇は三つまで）

「大丈夫ですか」などの声かけ（34.5%）が最も多く、次いで「災害状況や避難情報などの伝達」（16.1%）、「避難の手助け」（15.1%）となっています。

選択肢	回答者	構成比	
「大丈夫ですか」などの声かけ	706	34.5%	34.5%
災害状況や避難情報などの伝達	329	16.1%	16.1%
相談相手や話し相手になる	236	11.5%	11.5%
飲み物や食料などの備蓄品の提供	143	7.0%	7.0%
避難の手助け	309	15.1%	15.1%
介助や応急手当	82	4.0%	4.0%
その他	24	1.2%	1.2%
支援したいが余裕がないためできそうにない	118	5.8%	5.8%
わからない	97	4.7%	4.7%
合計	2044	100.0%	

【「その他」の回答】

- 職業として貢献する。（10～20歳代 女性）
- その場に応じて必要な手助けをしたい。（40歳代 女性）
- 高齢者支援の仕事に関わっているため、優先順位が決められない。（50歳代 男性）
- 保育補助（資格あり）（30歳代 女性）
- 消防団活動（50歳代 男性）
- 地下水があるので水の提供（75歳以上 男性）
- 災害時は出勤のため地域にはいられない。（40歳代 女性）
- 親が高齢のため他人の手助けが出来ないかもしれない。（50歳代 女性）
- 必要な時にできることはしたいと思う。（60歳代 女性）
- 浸水したお家の掃除、片付け。（40歳代 女性）

【問14】災害がおきた時に、地域の方にどのような支援（手助け）ができますか。（〇は三つまで）

・単位：回答者数 ・「その他」「無回答」は非表示		回答者数	の「大丈夫ですか」などの声かけ	災害状況や避難情報などの伝達	なる相談相手や話し相手に	飲み物や食料などの備蓄品の提供	避難の手助け	介助や応急手当	支援したいが余裕がないためできない	わからない
全体		2020	706	329	236	143	309	82	118	97
年齢	10～20歳代	264	80	44	27	22	41	19	17	14
	30歳代	245	83	42	25	12	41	18	17	7
	40歳代	351	125	58	45	21	62	15	9	16
	50歳代	288	107	44	31	22	49	8	10	17
	60歳代	325	117	63	33	27	57	9	12	7
	70～74歳	171	63	21	17	13	26	4	12	15
	75歳以上	376	131	57	58	26	33	9	41	21
性別	男性	909	300	171	90	61	160	37	46	44
	女性	1086	398	156	145	80	144	45	68	50
	どちらでもない	3	1	1	0	0	1	0	0	0
居住地区	中央地区（本庁）	263	100	49	28	19	36	10	11	10
	渡利地区（立子山を含む）	157	48	29	22	11	24	11	9	3
	杉妻地区	89	31	12	11	8	12	1	8	6
	蓬菜地区	66	21	10	10	3	12	5	1	4
	清水地区	241	78	45	24	20	37	14	14	9
	東部地区（大波を含む）	101	27	17	13	9	19	3	7	6
	北信地区	207	72	32	19	12	40	8	12	12
	吉井田地区	102	42	19	13	3	17	3	4	1
	西地区（土湯を含む）	53	18	9	6	1	6	2	7	4
	飯坂地区（茂庭を含む）	130	53	17	16	10	21	5	4	4
	信陵地区	110	40	16	16	11	14	4	6	3
	松川地区	97	35	15	12	5	18	0	6	6
	信夫地区	192	62	27	22	15	26	11	16	13
	吾妻地区	159	59	25	17	10	22	4	9	13
	飯野地区	36	14	5	4	5	4	1	2	1
職業	正規の社員・職員	718	247	122	71	46	139	45	24	24
	派遣・嘱託・契約社員	99	35	17	10	9	17	4	3	4
	パート・アルバイト	254	90	37	34	21	39	10	11	12
	自営業（家事手伝い含む）	132	48	29	13	13	18	1	3	7
	会社役員	55	18	10	8	6	10	2	0	1
	学生	66	22	14	5	4	10	6	3	2
	専業主婦・主夫	231	92	31	31	19	27	6	12	13
	無職	457	152	67	62	25	49	8	61	33
家族構成	単身世帯	254	76	33	36	19	39	14	23	14
	1世代世帯	621	226	106	74	44	85	19	37	30
	2世代世帯	983	344	163	113	65	163	42	48	45
	3世代世帯	129	47	22	10	14	19	6	8	3
居住形態	持ち家（一戸建て）	1463	523	237	182	105	210	49	84	73
	持ち家（集合住宅）	99	36	18	10	8	18	4	3	2
	民間賃貸（一戸建て）	75	26	10	9	6	15	1	4	4
	民間賃貸（集合住宅）	287	91	44	24	17	53	23	21	14
	公営住宅（市営・県営等）	48	18	8	7	3	4	2	4	2
	社宅・公務員住宅等	33	8	9	1	4	7	3	1	0

4 情報収集の方法について

問15 市政情報を収集する際にインターネットやSNS等のデジタルサービスを利用していますか。(〇は一つ)

「ときどき利用している」(32.8%)が最も多く、次いで「利用していない」(31.5%)、「ほとんど利用していない」(21.9%)となっています。

選択肢	回答者	構成比	
よく利用する	124	12.8%	12.8%
ときどき利用している	317	32.8%	32.8%
ほとんど利用していない	212	21.9%	21.9%
利用していない	304	31.5%	31.5%
無回答	9	0.9%	0.9%
合計	966	100.0%	

【問15】 市政情報を収集する際にインターネットやSNS等のデジタルサービスを利用していますか。(〇は一つ)

・単位：回答者数 ・「その他」「無回答」は非表示		回答者数	よく利用する	ときどき利用している	ほとんど利用していない	利用していない
全体		957	124	317	212	304
年齢	10～20歳代	129	23	39	23	44
	30歳代	105	24	44	18	19
	40歳代	156	26	70	34	26
	50歳代	144	18	57	41	28
	60歳代	148	18	58	32	40
	70～74歳	78	8	24	12	34
	75歳以上	197	7	25	52	113
性別	男性	424	56	122	100	146
	女性	522	67	192	111	152
	どちらでもない	11	1	3	1	6
居住地区	中央地区（本庁）	125	22	47	27	29
	渡利地区（立子山を含む）	69	15	21	15	18
	杉妻地区	43	4	21	11	7
	蓬萊地区	30	4	9	7	10
	清水地区	103	15	26	29	33
	東部地区（大波を含む）	45	2	14	9	20
	北信地区	100	10	38	21	31
	吉井田地区	49	11	15	11	12
	西地区（土湯を含む）	29	3	7	9	10
	飯坂地区（茂庭を含む）	66	3	21	10	32
	信陵地区	52	6	14	16	16
	松川地区	49	5	19	7	18
	信夫地区	89	10	30	21	28
	吾妻地区	78	13	26	11	28
	飯野地区	18	1	5	5	7
職業	正規の社員・職員	321	54	135	74	58
	派遣・嘱託・契約社員	44	9	15	11	9
	パート・アルバイト	117	14	43	27	33
	自営業（家事手伝い含む）	62	8	15	18	21
	会社役員	22	3	7	7	5
	学生	34	7	9	6	12
	専業主婦・主夫	114	10	44	24	36
	無職	239	18	48	45	128
家族構成	単身世帯	127	12	38	24	53
	1世代世帯	297	40	90	65	102
	2世代世帯	454	66	169	108	111
	3世代世帯	62	6	17	14	25
居住形態	持ち家（一戸建て）	694	76	224	164	230
	持ち家（集合住宅）	45	12	17	8	8
	民間賃貸（一戸建て）	33	8	9	7	9
	民間賃貸（集合住宅）	136	21	52	27	36
	公営住宅（市営・県営等）	22	3	8	4	7
	社宅・公務員住宅等	14	3	6	1	4

問15-1 「利用していない」主な理由はなんですか。(〇は三つまで)

問15で「ほとんど利用していない」「利用していない」と答えた方の内、「どのように使えばよいかわからないから」(31.0%)が最も多く、次いで「自分の生活には必要ないと思っているから」(14.1%)、「必要があれば家族に任せればよいと思っているから」(12.7%)となっています。

選択肢	回答者	構成比	
どのように使えばよいかわからないから	242	31.0%	31.0%
以前使おうとした、もしくは使ってみたことがあるが、うまく使えなかったから	50	6.4%	6.4%
どこで、どんなデジタルサービスを購入・契約すればよいかわからないから	86	11.0%	11.0%
個人情報の漏洩や詐欺被害など、トラブルに遭うのではないかと不安だから	98	12.6%	12.6%
購入や利用にかかる料金が高いと感じるから	35	4.5%	4.5%
自分の生活には必要ないと思っているから	110	14.1%	14.1%
必要があれば家族に任せればよいと思っているから	99	12.7%	12.7%
身近に携帯電話店や家電量販店など、デジタル端末を購入できる場所がないから	3	0.4%	0.4%
その他	57	7.3%	7.3%
合計	780	100.0%	

【「その他」の回答】

- 市政だよりで情報収集している。(50歳代 女性)
- 障がいがあるため、操作できない。(10～20歳代 男性)
- 市政情報が何かわからない。(30歳代 女性)
- 必要性を感じる事が少ない。(75歳以上 男性)
- 市のホームページはわかりにくい。(60歳代 女性)
- デジタル情報について、そもそもどんなものがあるか知らない。(30歳代 男性)
- 新聞、テレビ、家族などから収集できている。(50歳代 女性)
- 金がないから。(75歳以上 男性)
- 今市政情報を収集したいと思うことがない。(10～20歳代 男性)
- デジタル端末を持っていない。(50歳代 男性)
- 広報誌、回覧板など紙の媒体で充分だから。(60歳代 女性)
- インターネットが苦手。(75歳以上 女性)
- 分かりづらい、見づらい。(50歳代 女性)

【問15-1】「利用していない」主な理由はなんですか。（〇は三つまで）

・単位：回答者数 ・「その他」「無回答」は非表示		回答者数	どのような使い 方から	以前使おうとし た、もしくは使 つてみたことがあ るが、うまく使え なかつたから	どこで、どんなサ ービスを購入・契 約するか	個人情報漏洩や詐 欺被害など、トラ ブルに遭ったか	購入や利用にかか る料金が高いと思 じるから	自分の生活には必 要なと思つてい るから	必要があれば家 族に任せればよい と思つてい るから	身近に携帯電話 や家電量販店な ど、デジタル端 末を購入できる 場所がないから
全体		723	242	50	86	98	35	110	99	3
年齢	10～20歳代	91	30	2	13	10	4	18	13	1
	30歳代	34	12	2	3	1	1	10	5	0
	40歳代	75	23	4	10	12	5	12	9	0
	50歳代	85	25	11	12	17	4	9	6	1
	60歳代	108	37	8	16	14	5	18	10	0
	70～74歳	78	28	3	7	13	4	11	12	0
	75歳以上	252	87	20	25	31	12	32	44	1
性別	男性	365	115	25	50	50	20	57	46	2
	女性	344	123	23	36	45	13	50	53	1
	どちらでもない	14	4	2	0	3	2	3	0	0
居住地区	中央地区（本庁）	65	21	5	5	7	2	15	9	1
	渡利地区（立子山を含む）	39	11	1	7	4	4	5	6	1
	杉妻地区	19	8	2	3	0	0	4	2	0
	蓬萊地区	25	8	2	3	5	2	3	2	0
	清水地区	81	30	2	7	10	4	15	12	1
	東部地区（大波を含む）	50	18	5	6	7	2	5	7	0
	北信地区	65	25	4	8	7	0	10	11	0
	吉井田地区	29	6	5	3	6	3	3	3	0
	西地区（土湯を含む）	29	7	2	4	5	3	6	2	0
	飯坂地区（茂庭を含む）	67	27	5	9	10	1	4	11	0
	信陵地区	52	16	6	7	7	4	6	6	0
	松川地区	41	15	1	5	6	3	7	4	0
	信夫地区	67	23	7	7	10	3	8	9	0
	吾妻地区	58	16	2	6	10	2	12	10	0
	飯野地区	21	8	0	3	2	0	5	3	0
職業	正規の社員・職員	162	59	12	32	16	4	27	11	1
	派遣・嘱託・契約社員	29	8	2	2	5	3	5	4	0
	パート・アルバイト	96	33	7	6	18	8	14	10	0
	自営業（家事手伝い含む）	57	17	5	6	8	2	12	6	1
	会社役員	17	6	1	3	2	0	3	2	0
	学生	20	5	0	2	3	0	5	5	0
	専業主婦・主夫	82	33	4	8	6	3	11	17	0
	無職	259	80	19	27	40	15	33	44	1
家族構成	単身世帯	98	33	6	11	11	5	25	6	1
	1世代世帯	247	75	18	27	32	13	41	40	1
	2世代世帯	310	107	22	41	44	14	39	42	1
	3世代世帯	50	21	2	5	8	2	3	9	0
居住形態	持ち家（一戸建て）	587	197	38	73	83	28	79	87	2
	持ち家（集合住宅）	14	8	1	1	0	0	4	0	0
	民間賃貸（一戸建て）	21	3	1	2	4	1	8	2	0
	民間賃貸（集合住宅）	74	24	9	7	6	5	14	8	1
	公営住宅（市営・県営等）	16	6	1	2	3	0	2	2	0
	社宅・公務員住宅等	6	2	0	1	0	0	3	0	0

問１５－２ あなたの生活に必要な市政情報の主な収集先はどちらですか。

(○は三つまで)

問１５で「ほとんど利用していない」「利用していない」と答えた方の内、「市政だよりなど福島市の広報誌」(32.5%)が最も多く、次いで「町内会の回覧板」(21.0%)、「テレビ」(13.1%)となっています。

選択肢	回答者	構成比	
市政だよりなど福島市の広報誌	430	32.5%	32.5%
行政機関の窓口（市役所や支所など）	50	3.8%	3.8%
町内会の回覧板	278	21.0%	21.0%
地区の民生委員・児童委員	7	0.5%	0.5%
新聞（タウン情報誌を含む）	167	12.6%	12.6%
テレビ	173	13.1%	13.1%
ラジオ	28	2.1%	2.1%
ポスター及びチラシ	36	2.7%	2.7%
家族、知人、友人	135	10.2%	10.2%
その他	20	1.5%	1.5%
合計	1324	100.0%	

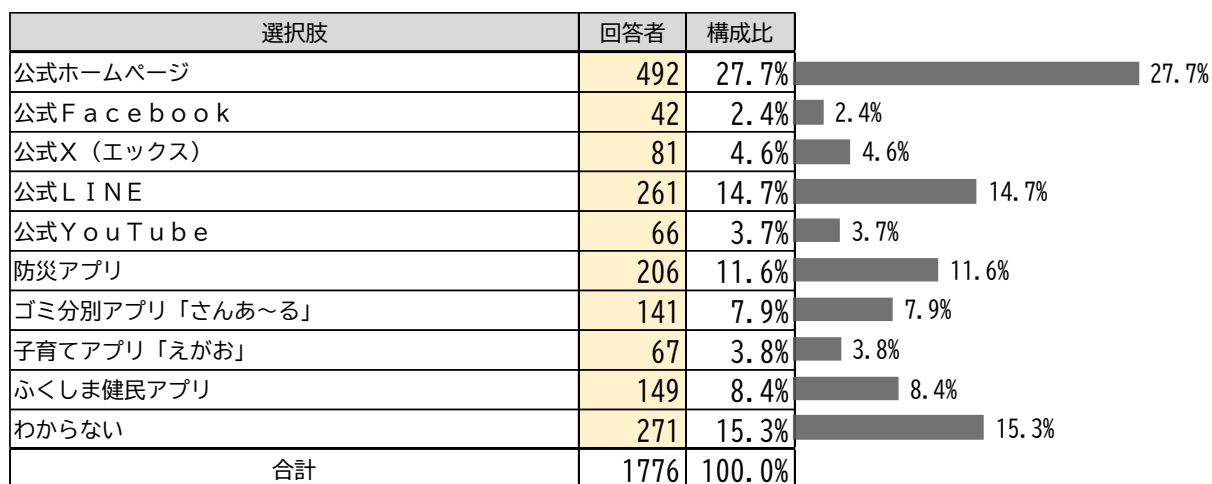
【問15-2】あなたの生活に必要な市政情報の主な収集先はどちらですか。（〇は三つまで）

・単位：回答者数 ・「その他」「無回答」は非表示		回答者数	市政だよりなど 広島市の広報誌	行政機関の窓口 (市役所や支所など)	町内会の回覧板	地区の民生委員・児童委員	新聞(タウン情報誌を含む)	テレビ	ラジオ	ポスター及びチラシ	家族、知人、友人
全体		1304	430	50	278	7	167	173	28	36	135
年齢	10～20歳代	121	26	7	16	0	3	25	1	6	37
	30歳代	83	27	9	13	1	7	8	2	5	11
	40歳代	147	46	6	31	1	11	22	5	8	17
	50歳代	176	63	9	31	0	22	26	6	4	15
	60歳代	200	73	7	45	0	25	26	3	6	15
	70～74歳	139	51	2	37	0	20	21	0	0	8
	75歳以上	438	144	10	105	5	79	45	11	7	32
性別	男性	590	197	15	131	2	82	80	15	16	52
	女性	686	228	24	142	5	82	90	13	19	83
	どちらでもない	18	5	1	5	0	3	3	0	1	0
居住地区	中央地区(本庁)	129	46	6	18	2	15	23	2	4	13
	渡利地区(立子山を含む)	89	33	3	21	0	15	7	1	2	7
	杉妻地区	50	15	1	9	0	10	7	1	3	4
	蓬萊地区	44	15	2	10	0	3	6	1	0	7
	清水地区	146	50	8	32	0	12	22	0	6	16
	東部地区(大波を含む)	74	24	5	18	0	7	8	3	2	7
	北信地区	118	36	5	18	1	17	21	3	7	10
	吉井田地区	59	18	2	14	0	6	5	3	3	8
	西地区(土湯を含む)	45	14	3	8	0	6	8	3	0	3
	飯坂地区(茂庭を含む)	102	30	1	22	0	17	14	5	0	13
	信陵地区	93	28	5	19	1	9	16	3	1	11
	松川地区	68	25	4	17	0	10	4	0	3	5
	信夫地区	115	39	3	29	1	15	12	0	2	14
	吾妻地区	120	40	2	33	0	18	13	1	3	10
	飯野地区	33	10	0	6	2	5	4	1	0	5
職業	正規の社員・職員	321	106	22	59	1	24	49	5	13	42
	派遣・嘱託・契約社員	65	17	5	10	0	8	12	0	5	8
	パート・アルバイト	141	48	6	29	0	19	16	7	4	12
	自営業(家事手伝い含む)	95	36	1	25	1	15	10	3	1	3
	会社役員	37	13	1	10	0	6	2	0	1	4
	学生	32	5	0	4	0	1	7	0	2	13
	専業主婦・主夫	179	66	3	42	1	24	22	2	1	18
	無職	430	138	11	99	4	70	54	11	9	34
家族構成	単身世帯	161	43	5	31	3	25	25	3	8	18
	1世代世帯	437	158	19	90	0	61	57	8	8	36
	2世代世帯	583	193	26	128	3	63	70	13	16	71
	3世代世帯	101	29	0	24	1	15	16	4	3	9
居住形態	持ち家(一戸建て)	1063	349	34	249	6	146	135	20	23	101
	持ち家(集合住宅)	43	19	1	3	0	6	6	1	4	3
	民間賃貸(一戸建て)	46	14	2	8	1	5	6	2	2	6
	民間賃貸(集合住宅)	104	33	10	8	0	5	18	4	5	21
	公営住宅(市営・県営等)	25	8	0	8	0	3	2	0	2	2
	社宅・公務員住宅等	8	2	2	1	0	0	2	0	0	1

問１６ 福島市が行っているデジタルによる情報発信方法で知っているものはありますか。

(知っているもの全てに○)

「公式ホームページ」(27.7%) が最も多く、次いで「わからない」(15.3%)、
「公式LINE」(14.7%) となっています。



【問16】福島市が行っているデジタルによる情報発信方法で知っているものはありますか。（知っているもの全てに○）

・単位：回答者数 ・「その他」「無回答」は非表示		回答者数	公式ホームページ	公式Facebook	公式X（エックス）	公式LINE	公式YouTube	防災アプリ	「ゴミ分別アプリ ーさんあーる」	子育てアプリ 「えがお」	ふくしま健民アプリ	わからない
全体		1776	492	42	81	261	66	206	141	67	149	271
年齢	10～20歳代	214	71	6	16	29	6	11	20	10	12	33
	30歳代	264	58	12	26	50	14	23	24	25	21	11
	40歳代	354	100	7	19	63	16	39	29	22	32	27
	50歳代	284	91	5	14	54	13	28	22	4	20	33
	60歳代	277	97	8	4	36	9	45	14	3	31	30
	70～74歳	122	27	1	1	14	1	24	15	1	11	27
	75歳以上	261	48	3	1	15	7	36	17	2	22	110
性別	男性	726	207	19	31	97	22	91	49	16	61	133
	女性	1030	279	22	47	162	42	115	92	51	87	133
	どちらでもない	20	6	1	3	2	2	0	0	0	1	5
居住地区	中央地区（本庁）	243	79	7	11	37	10	28	18	11	20	22
	渡利地区（立子山を含む）	134	34	2	3	26	4	14	14	4	18	15
	杉妻地区	73	25	0	3	17	2	6	7	2	5	6
	蓬萊地区	40	11	0	0	6	0	5	2	0	4	12
	清水地区	197	55	3	8	28	8	25	16	7	17	30
	東部地区（大波を含む）	97	20	4	8	16	5	12	6	3	6	17
	北信地区	176	52	2	7	19	2	18	17	7	22	30
	吉井田地区	94	31	2	4	15	7	10	6	1	9	9
	西地区（土湯を含む）	67	13	1	5	6	1	8	3	5	3	22
	飯坂地区（茂庭を含む）	100	25	4	3	13	3	12	11	2	6	21
	信陵地区	91	25	1	5	17	3	9	6	4	6	15
	松川地区	82	25	4	4	8	2	11	3	2	5	18
	信夫地区	191	45	6	10	27	10	21	16	11	16	29
	吾妻地区	156	42	5	8	22	8	20	10	7	11	23
	飯野地区	22	4	1	1	2	0	4	2	0	0	8
職業	正規の社員・職員	701	204	22	45	120	35	69	61	36	56	53
	派遣・嘱託・契約社員	73	24	0	2	13	1	9	5	3	7	9
	パート・アルバイト	237	62	7	11	38	9	23	20	14	22	31
	自営業（家事手伝い含む）	104	35	2	3	19	0	12	6	2	6	19
	会社役員	44	14	2	3	9	1	4	4	0	3	4
	学生	45	20	1	3	3	0	1	4	0	3	10
	専業主婦・主夫	232	61	6	7	28	12	34	19	9	24	32
	無職	332	70	2	6	30	8	54	21	2	27	112
家族構成	単身世帯	236	57	5	13	35	10	22	24	5	15	50
	1世代世帯	544	155	16	19	76	20	74	43	10	47	84
	2世代世帯	862	252	19	43	137	35	89	67	45	74	101
	3世代世帯	109	27	2	6	13	0	19	5	4	11	22
居住形態	持ち家（一戸建て）	1239	338	30	53	175	40	159	83	38	105	218
	持ち家（集合住宅）	109	33	5	7	13	6	13	10	6	9	7
	民間賃貸（一戸建て）	79	22	3	7	12	6	8	8	0	5	8
	民間賃貸（集合住宅）	263	75	3	13	50	10	19	30	16	24	23
	公営住宅（市営・県営等）	40	12	0	0	4	3	5	3	2	4	7
	社宅・公務員住宅等	29	9	0	0	6	1	1	5	4	1	2

5 孤立・孤独について

問17 あなたは「孤独」だと感じることはありますか。(〇は一つ)

「ない」(69.3%)と最も多く、全体の約7割を占めています。次いで「たまにある」(17.8%)、「時々ある」(5.8%)となっています。

選択肢	回答者	構成比	
ない	669	69.3%	69.3%
たまにある	172	17.8%	17.8%
時々ある	56	5.8%	5.8%
しばしばある・常にある	51	5.3%	5.3%
無回答	18	1.9%	1.9%
合計	966	100.0%	

【問17】あなたは「孤独」だと感じることはありますか。（〇は一つ）

・単位：回答者数 ・「その他」「無回答」は非表示		回答者数	ない	たまにある	時々ある	るしばしばある・常にあ
全体		948	669	172	56	51
年齢	10～20歳代	128	89	17	9	13
	30歳代	104	77	15	5	7
	40歳代	154	111	23	10	10
	50歳代	143	95	33	6	9
	60歳代	148	104	34	7	3
	70～74歳	77	58	12	5	2
	75歳以上	194	135	38	14	7
性別	男性	414	300	72	19	23
	女性	522	362	98	35	27
	どちらでもない	1	0	0	0	1
居住地区	中央地区（本庁）	123	91	17	9	6
	渡利地区（立子山を含む）	67	44	13	5	5
	杉妻地区	43	33	7	0	3
	蓬萊地区	30	27	2	0	1
	清水地区	103	70	21	10	2
	東部地区（大波を含む）	45	29	10	3	3
	北信地区	99	69	19	5	6
	吉井田地区	49	39	6	3	1
	西地区（土湯を含む）	28	17	7	2	2
	飯坂地区（茂庭を含む）	65	48	10	3	4
	信陵地区	53	36	10	4	3
	松川地区	46	32	9	3	2
	信夫地区	89	64	15	3	7
	吾妻地区	78	55	17	3	3
	飯野地区	18	12	3	2	1
職業	正規の社員・職員	318	231	55	16	16
	派遣・嘱託・契約社員	45	30	11	2	2
	パート・アルバイト	116	82	19	8	7
	自営業（家事手伝い含む）	62	52	9	1	0
	会社役員	21	14	4	1	2
	学生	34	24	5	3	2
	専業主婦・主夫	115	83	20	5	7
	無職	233	152	48	19	14
家族構成	単身世帯	125	59	41	18	7
	1世代世帯	294	220	51	15	8
	2世代世帯	451	335	68	18	30
	3世代世帯	61	44	10	4	3
居住形態	持ち家（一戸建て）	687	496	122	31	38
	持ち家（集合住宅）	44	27	11	6	0
	民間賃貸（一戸建て）	33	26	4	0	3
	民間賃貸（集合住宅）	136	88	26	13	9
	公営住宅（市営・県営等）	22	13	7	2	0
	社宅・公務員住宅等	14	12	0	2	0

問17-1 その状況はどのくらい前から続いていますか。(〇は一つ)

問17の「たまにある」「ときどきある」「しばしばある・常にある」と答えた方の内、「5年以上」(41.9%)が最も多く、次いで「3年以上5年未満」(13.6%)、「6ヶ月未満」(12.5%)となっています。

選択肢	回答者	構成比	
6ヶ月未満	35	12.5%	12.5%
6ヶ月以上1年未満	23	8.2%	8.2%
1年以上2年未満	29	10.4%	10.4%
2年以上3年未満	27	9.7%	9.7%
3年以上5年未満	38	13.6%	13.6%
5年以上	117	41.9%	41.9%
無回答	10	3.6%	3.6%
合計	279	100.0%	

【問17-1】その状況はどのくらい前から続いていますか。(〇は一つ)

・単位：％ ・網掛けは各属性の1位 ・「その他」「無回答」は非表示		回答者数	6ヶ月未満	6ヶ月以上1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上
全体		269	35	23	29	27	38	117
年齢	10～20歳代	39	8	3	6	4	3	15
	30歳代	27	5	2	1	1	3	15
	40歳代	43	7	4	1	4	4	23
	50歳代	47	2	3	4	5	6	27
	60歳代	41	4	6	5	7	5	14
	70～74歳	18	3	0	3	1	3	8
	75歳以上	54	6	5	9	5	14	15
性別	男性	108	15	11	9	9	16	48
	女性	156	20	12	20	18	20	66
	どちらでもない	1	0	0	0	0	1	0
居住地区	中央地区（本庁）	31	6	5	4	5	4	7
	渡利地区（立子山を含む）	22	3	3	1	2	3	10
	杉妻地区	8	1	1	1	3	0	2
	蓬萊地区	3	1	1	0	0	0	1
	清水地区	31	4	1	4	1	4	17
	東部地区（大波を含む）	15	1	2	2	1	2	7
	北信地区	29	4	0	6	2	8	9
	吉井田地区	10	1	2	0	0	2	5
	西地区（土湯を含む）	11	1	0	1	1	2	6
	飯坂地区（茂庭を含む）	17	3	1	1	0	1	11
	信陵地区	16	1	4	3	0	2	6
	松川地区	14	3	0	2	0	2	7
	信夫地区	25	1	1	0	1	4	18
	吾妻地区	23	4	0	2	9	3	5
	飯野地区	6	0	0	0	1	1	4
職業	正規の社員・職員	87	14	6	8	9	12	38
	派遣・嘱託・契約社員	14	3	3	0	1	2	5
	パート・アルバイト	33	3	0	2	9	1	18
	自営業（家事手伝い含む）	9	1	0	0	0	3	5
	会社役員	7	1	1	0	0	1	4
	学生	10	2	1	4	1	0	2
	専業主婦・主夫	30	3	3	3	1	2	18
	無職	76	8	8	12	6	17	25
家族構成	単身世帯	64	4	6	10	8	9	27
	1世代世帯	71	15	9	9	9	6	23
	2世代世帯	113	15	5	8	7	19	59
	3世代世帯	16	1	3	2	2	3	5
居住形態	持ち家（一戸建て）	183	22	14	19	18	31	79
	持ち家（集合住宅）	16	0	5	2	3	1	5
	民間賃貸（一戸建て）	7	1	0	0	0	0	6
	民間賃貸（集合住宅）	48	9	4	6	3	6	20
	公営住宅（市営・県営等）	8	2	0	1	3	0	2
	社宅・公務員住宅等	2	1	0	0	0	0	1

問18 新型コロナウイルス感染症が始まった2020年3月頃より前（コロナ禍前）と比べて、現在は他者とのコミュニケーションにどのような変化がありますか。
 （①及び②について、それぞれ○は一つ）

① 人と直接会ってコミュニケーションをとること

「変わらない」（55.6%）が最も多く、全体の5割以上を占めています。次いで「減った」（28.6%）、「増えた」（12.1%）となっています。

選択肢	回答者	構成比	
増えた	117	12.1%	12.1%
変わらない	537	55.6%	55.6%
減った	276	28.6%	28.6%
無回答	36	3.7%	3.7%
合計	966	100.0%	

② 人と直接会わずにコミュニケーションをとること

「変わらない」（65.3%）と最も多く、全体の6割以上を占めています。次いで「増えた」（17.8%）、「減った」（11.6%）となっています。

選択肢	回答者	構成比	
増えた	172	17.8%	17.8%
変わらない	631	65.3%	65.3%
減った	112	11.6%	11.6%
無回答	51	5.3%	5.3%
合計	966	100.0%	

【問18】新型コロナウイルス感染症が始まった2020年3月頃より前（コロナ禍前）と比べて、現在は他者とのコミュニケーションにどのような変化がありますか。（①及び②について、それぞれ○は一つ）

		① 人と直接あってコミュニケーションをとること				② 人と直接会わずにコミュニケーションをとること			
・単位：回答者数 ・「その他」「無回答」は非表示		回答者数	増えた	変わらない	減った	回答者数	増えた	変わらない	減った
全体		930	117	537	276	915	172	631	112
年齢	10～20歳代	123	14	71	38	127	37	78	12
	30歳代	104	17	59	28	102	28	66	8
	40歳代	152	12	89	51	154	27	114	13
	50歳代	139	16	75	48	141	24	92	25
	60歳代	144	19	84	41	141	28	97	16
	70～74歳	78	14	47	17	72	6	57	9
	75歳以上	190	25	112	53	178	22	127	29
性別	男性	409	46	261	102	396	63	282	51
	女性	509	70	269	170	507	108	340	59
	どちらでもない	1	0	1	0	1	0	1	0
居住地区	中央地区（本庁）	121	12	69	40	122	33	75	14
	渡利地区（立子山を含む）	65	6	40	19	62	12	44	6
	杉妻地区	41	5	23	13	42	7	32	3
	蓬萊地区	30	1	22	7	28	5	20	3
	清水地区	99	16	53	30	98	22	67	9
	東部地区（大波を含む）	44	5	22	17	43	8	28	7
	北信地区	99	16	53	30	95	13	64	18
	吉井田地区	49	3	31	15	49	11	34	4
	西地区（土湯を含む）	27	1	14	12	28	5	17	6
	飯坂地区（茂庭を含む）	63	9	34	20	64	11	45	8
	信陵地区	53	9	35	9	51	7	41	3
	松川地区	45	6	29	10	43	8	32	3
	信夫地区	88	13	49	26	85	17	53	15
	吾妻地区	78	11	44	23	75	10	55	10
	飯野地区	17	2	12	3	18	1	15	2
職業	正規の社員・職員	313	34	182	97	313	71	214	28
	派遣・嘱託・契約社員	44	1	24	19	44	10	25	9
	パート・アルバイト	115	17	68	30	115	21	83	11
	自営業（家事手伝い含む）	63	10	38	15	59	11	43	5
	会社役員	19	5	6	8	19	6	8	5
	学生	32	5	23	4	34	12	20	2
	専業主婦・主夫	115	15	61	39	112	19	80	13
	無職	225	28	134	63	215	22	156	37
家族構成	単身世帯	122	16	69	37	121	20	84	17
	1世代世帯	291	37	164	90	285	49	203	33
	2世代世帯	442	57	261	124	436	94	289	53
	3世代世帯	59	6	31	22	57	8	43	6
居住形態	持ち家（一戸建て）	674	87	396	191	656	120	454	82
	持ち家（集合住宅）	44	3	27	14	43	12	26	5
	民間賃貸（一戸建て）	33	0	19	14	33	4	23	6
	民間賃貸（集合住宅）	131	20	70	41	137	28	98	11
	公営住宅（市営・県営等）	22	2	13	7	22	3	15	4
	社宅・公務員住宅等	14	3	6	5	13	4	8	1

6 防犯・再犯防止について

問１９ 福島市が犯罪のない（少ない）安全で安心な暮らしやすい街だと感じますか。

（〇は一つ）

「どちらかといえば感じる」（５８．１％）が最も多く、全体の約６割を占めています。次いで、「感じる」（１３．７％）、「わからない」（１２．８％）となっています。

選択肢	回答者	構成比	
感じる	132	13.7%	13.7%
どちらかといえば感じる	561	58.1%	58.1%
どちらかといえば感じない	77	8.0%	8.0%
感じない	49	5.1%	5.1%
わからない	124	12.8%	12.8%
無回答	23	2.4%	2.4%
合計	966	100.0%	

【問19】福島市が犯罪のない（少ない）安全で安心な暮らしやすい街だと感じますか。（○は一つ）

・単位：回答者数 ・「その他」「無回答」は非表示		回答者数	感じる	どちらかといえば感じ	ない どちらかといえば感じ	感じない	わからない
全体		943	132	561	77	49	124
年齢	10～20歳代	129	22	79	3	8	17
	30歳代	104	13	59	11	8	13
	40歳代	154	17	94	14	12	17
	50歳代	142	14	92	10	9	17
	60歳代	147	19	89	15	3	21
	70～74歳	77	13	47	7	3	7
	75歳以上	190	34	101	17	6	32
性別	男性	413	67	228	33	24	61
	女性	518	63	331	43	21	60
	どちらでもない	1	0	0	0	1	0
居住地区	中央地区（本庁）	121	28	69	10	3	11
	渡利地区（立子山を含む）	67	11	41	2	6	7
	杉妻地区	43	4	31	2	5	1
	蓬萊地区	30	4	17	3	2	4
	清水地区	103	12	63	8	5	15
	東部地区（大波を含む）	44	4	31	3	2	4
	北信地区	99	7	62	14	3	13
	吉井田地区	47	3	28	6	1	9
	西地区（土湯を含む）	28	5	13	2	3	5
	飯坂地区（茂庭を含む）	65	10	38	5	2	10
	信陵地区	52	8	28	6	4	6
	松川地区	47	7	27	4	3	6
	信夫地区	89	13	51	6	6	13
	吾妻地区	79	8	50	3	4	14
	飯野地区	17	6	7	0	0	4
職業	正規の社員・職員	319	47	192	26	19	35
	派遣・嘱託・契約社員	54	3	27	4	15	5
	パート・アルバイト	114	11	75	8	6	14
	自営業（家事手伝い含む）	63	10	38	5	3	7
	会社役員	21	2	14	1	2	2
	学生	34	7	21	0	2	4
	専業主婦・主夫	116	15	74	12	2	13
	無職	228	37	117	21	10	43
家族構成	単身世帯	124	15	71	7	7	24
	1世代世帯	292	41	167	22	17	45
	2世代世帯	450	68	278	36	22	46
	3世代世帯	61	6	36	11	3	5
居住形態	持ち家（一戸建て）	683	92	416	57	33	85
	持ち家（集合住宅）	43	9	22	6	3	3
	民間賃貸（一戸建て）	33	4	16	2	3	8
	民間賃貸（集合住宅）	137	22	79	11	10	15
	公営住宅（市営・県営等）	22	2	14	0	0	6
	社宅・公務員住宅等	14	1	10	0	0	3

問２０ 非行や犯罪の防止、非行や犯罪をした人の立ち直りなどを支援する民間協力者がいることを聞いたことがありますか。（聞いたことがあるもの全てに○）

「保護司」（２４．５％）が最も多く、次いで「こども１１０番ひなんの家」（２４．０％）、「更生保護施設」（１５．６％）となっています。

選択肢	回答者	構成比	
保護司	539	24.5%	24.5%
更生保護女性会	34	1.5%	1.5%
協力雇用主	87	4.0%	4.0%
BBS会	27	1.2%	1.2%
更生保護施設	343	15.6%	15.6%
福島市青少年センター補導委員	157	7.1%	7.1%
こども１１０番ひなんの家	527	24.0%	24.0%
防犯協会	284	12.9%	12.9%
その他	4	0.2%	0.2%
わからない	196	8.9%	8.9%
合計	2198	100.0%	

【「その他」の回答】

- あまり興味がない。（３０歳代 男性）

【問20】非行や犯罪の防止、非行や犯罪をした人の立ち直りなどを支援する民間協力者がいることを聞いたことがありますか。
(聞いたことがあるもの全てに○)

・単位：回答者数 ・「その他」「無回答」は非表示		回答者数	保護司	更生保護女性会	協力雇用主	BBS会	更生保護施設	福島市青少年センター	のこども110番ひなん	防犯協会	わからない
全体		2194	539	34	87	27	343	157	527	284	196
年齢	10～20歳代	218	34	2	3	6	31	15	71	15	41
	30歳代	215	45	4	10	2	36	14	55	19	30
	40歳代	363	71	8	13	4	62	23	99	42	41
	50歳代	347	96	7	16	4	60	22	78	40	24
	60歳代	397	103	3	14	5	68	30	98	60	16
	70～74歳	195	53	3	10	1	23	16	44	35	10
	75歳以上	459	137	7	21	5	63	37	82	73	34
性別	男性	969	239	16	46	14	136	78	185	152	103
	女性	1198	293	18	40	13	202	76	338	128	90
	どちらでもない	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
居住地区	中央地区（本庁）	288	76	6	17	3	46	22	63	30	25
	渡利地区（立子山を含む）	149	39	0	7	2	26	11	34	16	14
	杉妻地区	101	23	2	4	1	12	10	25	14	10
	蓬萊地区	66	17	0	3	2	8	3	15	10	8
	清水地区	226	60	5	7	6	36	14	51	25	22
	東部地区（大波を含む）	111	23	3	2	3	17	11	29	17	6
	北信地区	235	56	3	12	1	32	18	65	36	12
	吉井田地区	122	31	1	4	1	27	7	30	13	8
	西地区（土湯を含む）	52	13	1	1	1	5	5	13	7	6
	飯坂地区（茂庭を含む）	159	30	2	9	3	27	12	36	23	17
	信陵地区	134	32	3	7	0	24	10	27	19	12
	松川地区	92	26	1	1	0	11	6	22	16	9
	信夫地区	203	49	3	4	1	35	13	52	22	24
	吾妻地区	192	46	3	7	3	28	12	49	27	17
	飯野地区	39	12	0	1	0	4	0	11	7	4
職業	正規の社員・職員	716	155	15	29	10	121	52	169	83	82
	派遣・嘱託・契約社員	90	21	1	2	0	16	7	25	7	11
	パート・アルバイト	279	62	4	12	5	46	17	77	36	20
	自営業（家事手伝い含む）	154	41	1	7	2	22	11	42	23	5
	会社役員	68	18	2	3	2	9	7	15	11	1
	学生	59	9	0	1	2	5	6	22	3	11
	専業主婦・主夫	302	84	3	16	3	51	17	80	35	13
	無職	516	146	8	17	3	72	38	95	84	53
家族構成	単身世帯	271	70	4	11	5	43	18	55	33	32
	1世代世帯	719	178	9	37	14	102	56	163	106	54
	2世代世帯	1036	251	18	34	7	172	73	261	122	98
	3世代世帯	135	33	2	4	1	22	7	43	17	6
居住形態	持ち家（一戸建て）	1643	418	23	62	22	250	121	387	229	131
	持ち家（集合住宅）	111	25	3	4	2	18	11	29	14	5
	民間賃貸（一戸建て）	75	17	0	6	0	14	4	18	6	10
	民間賃貸（集合住宅）	255	55	4	10	2	44	10	70	19	41
	公営住宅（市営・県営等）	60	14	1	4	1	9	4	14	10	3
	社宅・公務員住宅等	32	7	2	1	0	6	4	6	4	2

問２１ 非行や犯罪の防止、非行や犯罪をした人の立ち直りや見守り、声かけなどに協力したいと思いますか。(〇は一つ)

「わからない」(25.5%)が最も多く、次いで「どちらかといえば思う」(22.5%)、「どちらかといえば思わない」(19.8%)となっています。

選択肢	回答者	構成比	
思う	96	9.9%	9.9%
どちらかといえば思う	217	22.5%	22.5%
どちらかといえば思わない	191	19.8%	19.8%
思わない	189	19.6%	19.6%
わからない	246	25.5%	25.5%
無回答	27	2.8%	2.8%
合計	966	100.0%	

【問 2 1】非行や犯罪の防止、非行や犯罪をした人の立ち直りや見守り、声かけなどに協力したい
 と思いますか。(○は一つ)

・単位：回答者数 ・「その他」「無回答」は非表示		回 答 者 数	思 う	ど ち ら か と い え ば 思 う	な ど ち ら か と い え ば 思 わ ない	思 わ な い	わ か ら な い
全体		939	96	217	191	189	246
年 齢	10～20歳代	128	9	34	21	33	31
	30歳代	103	7	14	24	40	18
	40歳代	154	15	43	21	36	39
	50歳代	143	13	28	40	28	34
	60歳代	147	13	41	33	22	38
	70～74歳	76	10	14	21	10	21
	75歳以上	188	29	43	31	20	65
性 別	男性	407	49	101	63	87	107
	女性	520	45	115	128	96	136
	どちらでもない	1	0	0	0	1	0
居 住 地 区	中央地区（本庁）	121	13	20	26	33	29
	渡利地区（立子山を含む）	67	4	19	20	10	14
	杉妻地区	43	4	10	7	12	10
	蓬萊地区	30	2	9	5	6	8
	清水地区	102	7	27	20	21	27
	東部地区（大波を含む）	44	6	13	9	9	7
	北信地区	98	8	26	13	19	32
	吉井田地区	48	4	10	14	8	12
	西地区（土湯を含む）	27	5	7	4	4	7
	飯坂地区（茂庭を含む）	65	9	12	12	12	20
	信陵地区	52	7	7	15	12	11
	松川地区	45	3	11	9	10	12
	信夫地区	88	11	14	14	18	31
	吾妻地区	79	8	25	15	13	18
	飯野地区	18	2	6	4	1	5
職 業	正規の社員・職員	317	24	83	63	77	70
	派遣・嘱託・契約社員	45	7	5	9	14	10
	パート・アルバイト	116	10	25	24	23	34
	自営業（家事手伝い含む）	59	5	18	10	16	10
	会社役員	21	9	3	2	5	2
	学生	34	2	10	6	6	10
	専業主婦・主夫	116	9	29	31	12	35
	無職	227	29	44	45	35	74
家 族 構 成	単身世帯	125	10	34	24	24	33
	1世代世帯	292	30	66	63	58	75
	2世代世帯	445	41	100	93	97	114
	3世代世帯	61	11	16	10	8	16
居 住 形 態	持ち家（一戸建て）	679	70	167	139	126	177
	持ち家（集合住宅）	47	4	10	12	9	12
	民間賃貸（一戸建て）	30	3	4	6	10	7
	民間賃貸（集合住宅）	136	11	28	26	36	35
	公営住宅（市営・県営等）	22	2	4	4	4	8
	社宅・公務員住宅等	14	2	4	3	3	2

7 その他

問22 今後の地域社会において、あなたが特に重視する事項は何ですか（〇は三つまで）

「健やかで安心して暮らせる地域生活の構築【健やか・安心】」（21.5%）が最も多く、次いで「災害に対して強靱な地域づくりの推進【防災】」（14.2%）、「緊急時に即応可能な支援体制の構築【緊急時支援体制】」（13.2%）となっています。

選択肢	回答者	構成比	
お互いを尊重し支え合う意識の醸成【互いの尊重】	268	11.2%	11.2%
地域福祉の推進を担う人材の育成【人材育成】	159	6.7%	6.7%
住民主体による支え合いの基盤強化【支え合い】	136	5.7%	5.7%
地域福祉を支える人材や関係団体・機関の共創による地域福祉力の向上【共創】	135	5.7%	5.7%
災害に対して強靱な地域づくりの推進【防災】	339	14.2%	14.2%
緊急時に即応可能な支援体制の構築【緊急時支援体制】	315	13.2%	13.2%
利用者の立場に立った福祉サービスの提供【利用者目線のサービス提供】	293	12.3%	12.3%
地域における権利擁護（虐待・成年後見等）の推進【権利擁護】	47	2.0%	2.0%
健やかで安心して暮らせる地域生活の構築【健やか・安心】	513	21.5%	21.5%
複雑で複合的な悩みを抱えた人への総合相談や支援体制の整備【包括的支援】	112	4.7%	4.7%
その他	17	0.7%	0.7%
特になし	50	2.1%	2.1%
合計	2384	100.0%	

【「その他」の回答】

- 経済的に強い（地域の資金が高い）、子どもが安心して暮らせる地域（30歳代 男性）
- 世代ニーズの収集と世代に合わせて行政サービスの提供（30歳代 男性）
- 子育て支援（30歳代 女性）
- 多様性を感じられる地域になってほしい。（10～20歳代）
- 子育て支援（30歳代 女性）
- 身寄りのない高齢者、独居の高齢者など民間身元保証人、成年後見人などの充実（40歳代 男性）
- 教育環境（40歳代 女性）
- まちおこし、経済活動（60歳代 男性）
- 情報及び社会的弱者の方が生きるための基盤や助けの提供（10～20歳代 女性）
- 子どもが住みやすい社会（30歳代 男性）

【問22】今後の地域社会において、あなたが特に重視する事項は何ですか（〇は三つまで）

・単位：回答者数 ・「その他」「無回答」は非表示		回答者数	お互いの意識を醸成し尊重し支え合う	地域の福祉の推進を担う人材の育成	住民主体による支え合いの基盤強化	地域福祉を支える人材の育成・機会の向上	災害に對して強靱な地域づくりの推進	緊急時に即応可能な支援体制の構築	利用者の立場に立った福祉サービスの提供	地域における権利擁護の推進（虐待・成年後見等）	健康で安心して暮らせる地域生活の構築	複合的な相手を抱えた人への総合的な支援体制の整備	特になし
全体		2367	268	159	136	135	339	315	293	47	513	112	50
年齢	10～20歳代	319	34	24	13	16	46	38	42	17	63	18	8
	30歳代	240	18	19	8	13	43	32	28	6	54	12	7
	40歳代	383	49	28	16	16	65	48	43	8	90	13	7
	50歳代	349	36	23	15	17	60	54	45	2	71	18	8
	60歳代	377	31	19	28	33	49	71	51	8	68	13	6
	70～74歳	204	25	9	15	6	25	23	30	2	54	10	5
	75歳以上	493	75	37	41	32	51	49	54	4	113	28	9
性別	男性	1018	129	68	67	60	150	124	120	12	225	34	29
	女性	1326	136	88	68	75	187	189	170	35	283	76	19
	どちらでもない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
居住地区	中央地区（本庁）	300	35	24	17	23	54	37	34	6	59	7	4
	渡利地区（立子山を含む）	172	16	16	13	12	26	17	20	7	33	11	1
	杉妻地区	111	11	8	6	8	19	15	10	3	25	5	1
	蓬萊地区	81	10	7	4	6	7	4	13	1	19	8	2
	清水地区	251	30	15	14	15	35	35	31	5	56	9	6
	東部地区（大波を含む）	123	16	6	7	5	19	18	19	1	25	6	1
	北信地区	243	23	9	9	7	40	46	35	5	53	10	6
	吉井田地区	125	13	9	6	8	20	20	12	2	27	7	1
	西地区（土湯を含む）	70	11	4	5	2	8	8	7	2	15	5	3
	飯坂地区（茂庭を含む）	162	16	14	3	8	24	24	22	2	37	9	3
	信陵地区	124	20	10	6	6	11	16	16	1	28	7	3
	松川地区	119	11	3	13	10	12	14	14	0	28	10	4
	信夫地区	208	20	13	9	9	36	26	28	4	49	5	9
	吾妻地区	203	25	17	17	14	18	25	24	4	46	9	4
職業	飯野地区	49	11	3	7	1	6	6	3	2	8	1	1
	正規の社員・職員	776	78	57	38	53	128	108	92	10	171	28	13
	派遣・嘱託・契約社員	97	8	5	7	4	13	16	8	6	22	6	2
	パート・アルバイト	303	35	17	8	12	46	38	39	9	73	17	9
	自営業（家事手伝い含む）	151	21	13	17	10	18	22	14	0	27	6	3
	会社役員	50	6	3	1	4	11	7	6	2	9	0	1
	学生	89	12	8	6	4	9	12	12	6	16	4	0
	専業主婦・主夫	300	31	16	16	16	36	50	40	8	71	16	0
家族構成	無職	592	75	39	43	32	77	61	81	6	123	34	21
	単身世帯	294	27	17	16	19	43	44	34	7	62	17	8
	1世代世帯	744	81	52	43	38	112	108	95	11	161	31	12
	2世代世帯	1136	134	75	65	70	158	141	142	25	247	58	21
	3世代世帯	157	19	13	12	5	23	21	18	2	35	5	4
居住形態	持ち家（一戸建て）	1753	208	119	113	105	242	227	217	30	379	81	32
	持ち家（集合住宅）	115	11	8	5	5	24	14	16	2	27	2	1
	民間賃貸（一戸建て）	82	7	5	3	3	11	11	9	3	19	8	3
	民間賃貸（集合住宅）	312	28	20	14	17	52	53	32	8	66	13	9
	公営住宅（市営・県営等）	55	11	4	1	2	3	6	13	3	9	1	2
	社宅・公務員住宅等	30	1	3	0	3	5	4	3	0	8	3	0

問２３ 本市が行う福祉サービスに満足していますか。(○は一つ)

「どちらでもない」(27.8%)が最も多く、次いで「やや満足している」(23.6%)、「わからない」(22.6%)となっています。

選択肢	回答者	構成比	
満足している	68	7.0%	7.0%
やや満足している	228	23.6%	23.6%
どちらでもない	269	27.8%	27.8%
やや不満である	95	9.8%	9.8%
不満である	70	7.2%	7.2%
わからない	218	22.6%	22.6%
無回答	18	1.9%	1.9%
合計	966	100.0%	

【問23】本市が行う福祉サービスに満足していますか。（〇は一つ）

・単位：回答者数 ・「その他」「無回答」は非表示		回答者数	満足している	やや満足している	どちらでもない	やや不満である	不満である	わからない
全体		948	68	228	269	95	70	218
年齢	10～20歳代	129	8	26	38	16	10	31
	30歳代	105	4	19	32	15	14	21
	40歳代	155	12	30	55	10	12	36
	50歳代	144	8	30	48	17	8	33
	60歳代	146	5	35	43	19	12	32
	70～74歳	77	9	22	17	6	6	17
	75歳以上	192	22	66	36	12	8	48
性別	男性	422	34	108	117	35	27	101
	女性	515	34	117	150	59	40	115
	どちらでもない	1	0	0	0	0	1	0
居住地区	中央地区（本庁）	114	9	27	26	12	10	30
	渡利地区（立子山を含む）	77	6	17	28	11	4	11
	杉妻地区	43	1	7	16	2	8	9
	蓬萊地区	30	2	9	8	3	0	8
	清水地区	103	5	25	31	11	8	23
	東部地区（大波を含む）	45	4	12	14	6	1	8
	北信地区	99	9	21	26	9	7	27
	吉井田地区	49	4	11	15	4	2	13
	西地区（土湯を含む）	29	3	6	6	4	3	7
	飯坂地区（茂庭を含む）	64	8	21	14	2	4	15
	信陵地区	52	3	9	15	7	6	12
	松川地区	48	1	20	13	3	4	7
	信夫地区	87	3	20	24	9	6	25
	吾妻地区	78	6	17	25	10	4	16
	飯野地区	18	3	5	4	0	1	5
職業	正規の社員・職員	321	16	66	108	36	24	71
	派遣・嘱託・契約社員	44	1	9	19	5	3	7
	パート・アルバイト	115	6	21	39	11	8	30
	自営業（家事手伝い含む）	62	5	16	19	5	4	13
	会社役員	22	2	6	2	5	5	2
	学生	34	4	7	7	4	1	11
	専業主婦・主夫	113	9	31	27	11	9	26
	無職	223	25	70	37	17	16	58
家族構成	単身世帯	123	10	20	35	9	6	43
	1世代世帯	295	18	71	83	26	26	71
	2世代世帯	452	34	116	128	53	36	85
	3世代世帯	62	5	17	20	4	2	14
居住形態	持ち家（一戸建て）	688	47	180	195	69	46	151
	持ち家（集合住宅）	45	5	9	14	3	3	11
	民間賃貸（一戸建て）	34	0	6	11	5	5	7
	民間賃貸（集合住宅）	134	10	22	42	13	11	36
	公営住宅（市営・県営等）	22	3	6	1	2	3	7
	社宅・公務員住宅等	14	0	4	3	0	2	5

問24 地域福祉に関することで、ご意見・ご要望などありましたらご記入ください。

(自由記載)

- 介護認定の時間がかかりすぎだと感じます。そもそも、認知症になったから申請できると考えている人がほとんどで、認知症以外でも申請できる事を積極的に市から発信して欲しい。暫定的に介護支援を受けられる制度もあると言う事も合わせて。
以前、手話奉仕員養成講座を受講しました。今は、手話サークルに参加していますが、出来れば養成講座を初級、中級と増やして欲しいです。養成講座が終わった後は、手話通訳講座しかないのでハードルが高いと感じます。
(50歳代 女性)
- 子育てするにあたり、学校の老朽化が気になる。保育所が長女と長男で信夫山の北と南に位置しており、送り迎えが大変。どの地域の需要が高いかを応募人数で把握が可能だと思うので、現在ある施設を利用して保育所を開所するなどの方策を考えていただきたい。
(30歳代 男性)
- 子育て支援も重要ですが、個人の財力に左右されない介護の支援も充実してほしい。家族の介護ばかりで自分の将来が見えない。家族から解放されたい。
(30歳代 女性)
- 福島市は待機児童ゼロと言っていますが、希望する地域の施設に入れず仕方なく育休を延ばしているお母さんがたくさんいます。それを待機児童ゼロと言われると、モヤモヤします。また、施設の定員に余裕があっても保育士が揃わず、受け入れられない場合もあり、人材の育成や待遇の改善に力を入れて欲しいです。誰でも通園制度もまずは人材確保が出来なければ難しいと思います。何を始めるにしても、現場の声を聞いてから検討して下さい。
(40歳代 女性)
- 高齢者を支えるためにも若年層が生活しやすい政策、育児政策等の整備を希望します。
(10～20歳代 男性)
- 少子化対策として子育て支援は必要と感じているが、今般の子育て事情は祖父母の子育てに係る援助や家計的な支援も多々求められるご時世になってきており、正直、自分自身も妻も働きながら現実問題として多方面に援助しているのが実情。祖父母も子育て世代を仕事しながら支援しやすい福利厚生を切に希望します。
(50歳代 男性)
- 子育てをまともにできない人が、増えているように感じる。学ぼうともしない。何でも学校や行政のせいになっている。子ども達が小さい頃は、学習センターの子育て教室や子どもクラブや催しなどたくさん利用してとても良かった。こむこむ館や児童公園も何回も行った。市の施設や催しをたくさん利用しながら子育てすると、お金をかけずに良質な教育が受けられるということに気づいてほしい。でも、チラシを学校で配付するのはやめてほしい。学校の仕事が増える。電子チラシも同様。LINE登録者のみ市から直接送るとかにしてほしい。
(40歳代 女性)

- 一言に地域福祉と言っても多岐にわたりますが、共通して言えるのは「どの様なサービス」が「どこで受けられる」のか「どうしたら受けられる」のかがわからない現状があると思います。困りごとの相談先がわからない、相談しても手続きの複雑さに困惑する。充実した福祉サービスは大切ですが先ずは地域に密着した福祉サービスが必要だと思います。（６０歳代 男性）
- 児童、ファミリー向け施策（教育、インフラ、負担割合）など、他自治体の取り組みや支援と同等の水準まで引き上げて欲しい。ハード面の施策はそれなりに充実していると感じるが、ソフト面の施策や人材の質、柔軟性が他地域よりも遅れていると感じる。（３０歳代 男性）
- 福祉相談が気軽にできるようにして欲しい。福祉器具を安くあるいは無料で貸し出して欲しい。（６０歳代 男性）
- 福島市として学童保育などの子育て事業への理解と支援（待機児童、各種助成金）に力を入れて欲しい。（３０歳代 男性）
- 昔と比べて育児や児童発達に関わる支援センターは増えて助かっていますが、もう少し施設の充実や専門知識のある人材の育成に力を入れてほしい。（３０歳代 女性）
- 一番の関心が独居老人対策であり、最重要なのが見守り体制の構築である。そのためには、行政による仕組みづくりが重要と考える。例えば、インフラを活用した見守り、水道や電気の使用状態の常時監視、対面での確認、地域医院・かかりつけ医、看護師による定期的な訪問・巡回。これらの仕組みを作って、地域住民に提案し協力を仰ぐことが重要と考えます。（７５歳以上 男性）
- 双子を育てています。赤ちゃんの頃、双子の会などに参加してみたかったのですが、双子を育てながら会への参加は、準備をして家を出るところからとても難しく、一度も参加することができませんでした。知人もおらず、とても孤独でおかしくなりそうでした。そういった集まりに出てこられる人はあまり問題ない場合が多く、家から出てこられない人にもっとフォーカスする必要があるのではないかと思います。余裕がなさすぎる母や家庭への支援がもっと必要だと思います。これは双子に限ったことではなく、子育て支援の課題なのではないかと感じています。また、子育てしながら仕事をすることが当たり前になっていますが、子どもが体調を崩せば職場に頭を下げ、収入も減ってしまいます。母は、子どもにとって唯一無二の存在です。当たり前子どもとゆったり安心して一緒に過ごすことができる世の中にしていきたいと思います。（３０歳代 女性）
- 他（外国）地域から越してきて、初めは長らく住まわれている方々が住むところで暮していくのは難しいと心配でしたが、子供を育てる中でも隣同士がわからない所より、良いのでは？と思い決めました。約１０年以上経った今もここに決めて良かったと思うところです。周りの方々が、年老いてきて亡くなる方、一人になってしまった方も増えてきました。どうか、助けが必要な人にいき届く福祉でありますように。助けられる事があれば学ぶ機会などお願いしたいです。（５０歳代 男性）

- 高齢者が増えている中で介護度（介護サービス）を、身体能力基本ではなく認知度もベースにして検討してほしい。独歩できるからと介護度が低いと入所できる施設が限られてくる。一番介護が必要なのは独歩の認知症であると思う。（４０歳代 女性）
- 身の回りで福祉に関する利用者が居ない為、実感があまりありません。今後、身近になっていくと思うので、関心を持ちたいと感じています。（５０歳代 男性）
- 知的障がいのある方が地域内にいて、大声を出したり、汚い言葉を使っていたりして、大人も子どもも怖い思いをしたことがあります。そういった事態を防ぐことができる地域になると良いなと思います。（３０歳代 男性）
- せっかく問 22 のようなことが沢山あるということをもっと市民が知らなければ表題だけで利用活用が出来ずもっと市民に知ってもらうことが市民の喜びになっていくと思います。福祉サービスの宣伝が市民の喜びにつながっていくのではないのでしょうか。（７５歳以上 女性）
- 子供の遊ぶ所が少なすぎる。小さい子から大きい子まで。（３０歳代 女性）
- 介護事業所の内容が不十分で、リハビリに行ったけれど全く効果のあることが出来なかった。市内全部の事業所をテストすることも出来ないの、行政として事業所の質の向上を考えてほしい。（７５歳以上 女性）
- 今地域社会では高齢化が急速に進んでいる。所々に空き家が目立つようになっているが、跡にできるのはアパートばかり。アパートに入るのは学生や若い人だが、町内活動に参加する人はまずいない。建設業者には入居者が町内会員となり町内活動に参加するよう話してほしい（建設許可時に）。若い人が加わり、町内活動に活気が出るものと思う。（７５歳以上 男性）
- 犯罪防止のために街灯の数を増やしていただけると、より安心です。（空き家が多い地区は特に）（６０歳代 女性）
- いつもお世話になっております。福島市はこれまで経験した町の中ではとても住みやすく、また、地域福祉も比較的行き届いているように思います。今後とも、素敵なまちづくりを目指していただけたら幸いです。（５０歳代 女性）
- 高齢で要支援者の受け入れられる施設の充実を要望します。（７５歳以上 男性）
- 福島市内の経済の活性化や、街の賑わいが地域福祉にもつながると思う。多数の人が市外に買い物に行く状態では寂れるばかり。（６０歳代 男性）
- 地域のつながりが昔のようにあったらいいと思います。（３０歳代 女性）
- 希望する人が老人ホーム等にスムーズに入れればいいと思います。義母の看護の時は 300 人台の順番待ちだと言われました。（７５歳以上 女性）
- これから子どもたちが大きくなるにつれ、犯罪にまきこまれないか不安に思う。数十年前も問題になったが、教育機関の近くに元犯罪者の更生施設は建設してほしくない。ただ、子育て支援へのサービスは充実していると感じる。ありがとうございます。（３０歳代 女性）

- 現在デイサービスで介護を受けている身ですが、サービスを提供する側からみて現在どんな問題に直面しているか、悩んでいることがあればどんなことかなど、逆に知りたいです。率直に活かすことにより、良い解決法を見出されることもあるかと存じます。
(75歳以上 女性)
- 地域で障がいを持った方が過ごす施設や活動があると思いますが、そういった施設や活動内容を広報などで知らせてほしいです。自分の地域で活動されることへの理解や支援などの気持ちが各自につくられると思う。地域ぐるみで理解、支援が広がるとよい。
(10～20歳代 男性)
- 高齢者の買い物や、生活の手厚い支援がまだまだ十分に足りていないと感じる。
(50歳代 女性)
- 高齢者の健康維持のため、ボランティア活動を積極展開すると良いと思う。
(70～74歳 男性)
- 問23は、利用した事がないのでサービスの満足度についてはわからないが、これから先利用する可能性はあると思うので窓口などわかりやすくしておいて欲しい。
(70～74歳 女性)
- 今のところ仕事をしているので孤独とは感じないが、退職後、社会とのつながりを自分からさがしていかないと孤独になると思う。遠方の友人とも頻繁に会えなくなるので地域のイベントや行事に参加してつながりを保っていきたい。 (50歳代 女性)
- SNSを利用できる人は情報をすぐとれるが、電波が混雑時に使用できない。SNSを利用できない人は、手元の情報がすぐ受け取れない。支所の場所にも遠かったら交通手段のない人にはむずかしい。各地域の学校で同じ情報がすぐとれれば安心かもしれない。地域か福祉かの区別ではなく、地域の中の福祉としてなら昔ほど互助がなくなりつつあり、むずかしいのかもしれない。空き家が多く、土地があっても、農業のみに使える土地で家を立てることができない場所は人口も減少するのは当然だと思う。ただ若い人がコミュニティに入っていくには入りづらい雰囲気もあり、むずかしいのかもしれない。
(40歳代 女性)
- 独居高齢者や高齢者夫婦がサービスを利用しやすい街になってほしいと思います。怪我や病気をきっかけに介護を要する方が多く、それにともない元の生活の場に戻れない方も多い。家族も含め地域でより良い生活ができる環境になってほしいです。
(30歳代 女性)
- 家族に障がい者手帳を持っているものがあります。外に出ようとしても段差でつまずいたり、歩道や道路がデコボコしていて安心して歩けません。横断歩道を渡るにも雑草が生い茂っていて前が見えにくかったりしています。障がい者にもやさしい街であってほしいと思います。 (50歳代 女性)
- 児童養護施設で働いていたが、人手不足で子どもたちにちゃんとした指導が出来ていないと感じた。また、親と子の対話するための場所が少ないとも感じている。保育関係の賃上げも考えていただきたい。 (10～20歳代 女性)

- 子供とお年寄がふれあえるイベントがあると良いと思います。シングルマザー、シングルファザーと、孤立しがちな高齢の方と接点があれば、双方にプラスになることもあると思います。あえて機会をつくっても、強制するようで逆効果になることもあるので、自然と参加できるイベントがあればと思います。退職後の両親を見ていて感じました。期待しています。（５０歳代 女性）
- 一人生活で今の時点では、健康に過ごせているので特に不満を感じていないが、高齢者が多い福島で介護が必要になったとき、どのようなサービスが受けられるか不安を感じる。（７５歳以上 女性）
- ケアマネジャーの人数が不足しているのか、私にはついていません。民生委員さんが時々来てくださるのでそれとなく相談していますが、これからの健康について相談にのってほしいです。（７５歳以上 女性）
- 高齢者の免許返上や近所の小売店の減少などにより買物の不便さを実感している人たちが増加しています。地域全体で配食サービスやふれあいサロンなどの活動をさらに推し進めていただきたいと思います。活動を周知徹底し孤立することのないよう支援していく必要を強く感じます。（７５歳以上 女性）
- 子どもの屋内遊び場がありません。本当に困っています。夏場の暑い時に遊ばせる場所を提供してください。子育てしやすい福島市とはとても思えません。どうぞよろしくお願いします。（１０～２０歳代 女性）
- 夫が若年性認知症になり進行しています。今後、包括の方にお世話になるかと思えます。そこで初めて色々な事を考えたり感じたりするのだらうと思っています。話しを聞いてもらうだけでもきっと心強いと感じると思います。（５０歳代 女性）
- 子育てしやすい環境が整っていないように感じるので出産をためらってしまいます。少し前のように共働きでなくても子育てができるような状況にしてほしい（賃金の引上げ、物価の値下げ、子育てに関する制度など）。私は持病があり、フルタイムで働くのが難しいが、今は夫婦でフルで働いて二人分の暮らしができる程度なので、できれば少なくともパートタイムで子育てできるくらいになるとよいと思う。（１０～２０歳代 女性）
- 情報弱者にならない様、対策をお願いいたします。（７５歳以上 女性）
- 今回のアンケートで、市がデジタルによる情報発信しているアプリを知った。これまでどのような分野でどのようなアプリがあるのかを知らなかったので、市報や転居手続きの際の資料にアプリを一覧にして紹介するような用紙を配布してみてはいかがでしょうか。アプリを使うことでのメリットや利便性も説明してほしい。（３０歳代 女性）
- 原点は「向こう三軒両どなり」にある。現在は戸建住宅に引っ越してきててもあいさつもなし。町内会にも入らない。「となりは何をするひとぞ」では『共助』の基盤は成り立たない。誰にも迷惑をかけていない、誰にも世話になっていないといった唯我独尊主義者が地域に結構居る。利己から利他への精神をいかに醸成していくことが出来るかが問われる。（７５歳以上 男性）

- 若者と高齢者間や住民間の連帯意識の希薄が感じられる中で住民間や住民主体による支え合いが心配。以前は個人でできるもの、地域で取り組む内容、個人や地域で解決不可能なものは行政にお願いする等地域住民間で話し合い生活してきたが、このような取り組み事態が困難になってきていると感じられる。行政にマルなげの感じが強い。もっと地域連帯意識醸成のための工夫や取り組みが必要かな？（75歳以上 女性）
- 今後、独り暮らしの高齢者が益々増えていくことが予想されます。そのような社会であっても安心・安全に暮らしていけるよう、行政サービスの充実に加えて、地域の見守り活動や、共助の仕組みの充実が図られるよう取り組むことが重要と思います。その為の施策を宜しくをお願いします。（60歳代 男性）
- 包括支援センター等、福祉の窓口の人員がもっと増えることを望みます。市役所西棟が完成したら、高齢者又は地域住民の行事、催し物を行う場所として利用でき、活発な活動につながるのではと期待しております。地域で誘い合い高齢者の孤立、孤独の解消に少しでも役立てたいと思っています。（75歳以上 女性）
- 障がいのある子を育てています。その子たちが大きくなって社会に出たときに住みやすい町、働きやすい都市になっているといいです。（40歳代 女性）
- 福祉に関するワンストップ窓口。（50歳代 女性）
- 色々な事に対して連携が遅かったり、とれていない様に感じる事がある。年配の方の考え方が強すぎて若い人の意見が上手く反映されずに、町内会での活動が滞る事が多いので上手く回って欲しい。（50歳代 女性）
- 「福祉」と言うと経済的、身体的に弱い立場にある人を支援していくイメージが強いですが、多様な時代の中で一人でも多くの方が元気に日々を過ごせる社会作りが大切だと思います。今後の市の取り組みには新しい概念での福祉の取組みにも期待します。（50歳代）
- 市からの情報提供が不足している。よって市や関係団体の活動はテレビなどのニュースで終了後に知る事が圧倒的である。平時はともかく非常時には当局の情報提供が要となる。情報弱者が増える高齢化時代にこそ、よりシンプルで理解されやすいアプローチが必要と思う。（60歳代 男性）
- （高齢者問題）特に認知症、一人世帯の方々が近所にたくさんいらっやって困っている方がたくさんいます。サポート制度があっても知らない高齢者がいるので、手厚くして欲しいです。（10～20歳代 女性）
- 私はまだ子育てや介護をする生活をしていないので福島市の福祉サービスがどうなのか分かりませんが、若者が住みやすい街づくりとして、駅前でたまにある催しを人が集まる場所のきっかけとして、これからも沢山のイベント開催を応援しています。駅前が今何もないからこそライブ AZUMA など遊ぶ機会があると嬉しいです。進化する福島市を楽しみにしています。（30歳代 女性）
- 介護認定の申請から認定までの時間が、他市に比べてかかりすぎていると知人から聞いている。福祉関係については迅速な対応を臨む。（50歳代 女性）

- 福島市内に子どもが遊べる場所が少ないので伊達市まで遊びに行っています。もっと子育てしやすい福島市にしてほしいです。（４０歳代 女性）
- 子どもの室内遊び場が少ないことなど子どもを産みたいと思える環境が整っていない。子どもは一人しかいないが、これから二人目は考えられない。経済的にも苦しく３人で生活するのが精一杯。（３０歳代 女性）
- 高齢者介護に関わっていますが、人手が少ないことで気持ちにゆとりがなく「待つ」ことが難しい環境になりつつあります。社会においてもスピードや結果をすぐ求めることが重視されて「待つ」ことが難しくなっていると感じます。（４０歳代 女性）
- 地域包括支援センターと社会福祉協議会との関連性が分かりにくい。地域包括支援センターに多くの人材をつぎ込んでほしいと思います。（７５歳以上 男性）
- 「わからない」と問題を抱える方が、「わからないし、もういい」とあきらめないで、声をあげて「助けて」と言える環境であってほしいと思います。どんなにか制度やしぐみへの理解力が乏しくても、生きて生活していこうと思えるならよい町だなと思います。あとは、子どもがもっと中心になっている町にしてほしいです。少子化ですが、それを理由に子どもが居たいと思える場所を減らしては、暗い沈んだ気持ちの子どもが増えそうだと感じています。（１０～２０歳代 女性）
- 地域福祉に関して思うことは、福島市は高齢者に対してのサービスに比べ、未就学児に対してはまだまだ不足しているように感じています。私たちの子は医療ケア児です。特に医療ケア児と、その家族に対してのサポートが少ないように感じます。医療的ケアが必要というだけで、普通の子たちと同じように保育園にも通えない、なかなか子供を預かってくれる所がない。高齢者の施設は多いが、もう少し社会全体で医療的ケアを必要としている人達に目を向けて欲しいと思っています。医療ケア児は預かってくれる施設も時間も少なく、そのため医療ケア児を持つ親は常に自分達で子供を診なければならず、一般の子供の家庭のように子供を保育園に預けている間に仕事に出るというような事もむずかしく、社会復帰したくてもできない状況になっていると感じます。大人とか子供とか、健常者だとか障がい者だとか社会をうまくまわしていく為には区別は必要であると思っています。区別が必要であっても、その区別が差別になってはならないと思います。私達の子供は医療ケア児です。その前に、私達の子供は皆さんと同じように福島市民です。福島市で生まれ、この街で生きて行きます。私達も大切に育てて行きます。しかし、行政のサポートは絶対に必要です。私達のように医療ケア児を大切に育てている家族は福島市内にも一定数います。一般の家庭と比べてしまうと割合的にはかなり少ない為、サポートも少なく、後回しにされていると思います。その方々もこの街で生活している福島市民です。少数ですが、私たちは声を上げ続けます。行政はもっともって私達の現状を知ってほしいです。もっともって私達の声に耳をかたむけてほしいです。福島市民の１人として、色々な人に優しい福島市になってくれるよう願っています。（３０歳代 女性）

- 必要と感じている人に対しての福祉サービスをもっと充実させてほしい（よりそって）。たまに広報車が回っていますが、なんと言っているのか聞き取れません。
（70～74歳代 女性）

など

Ⅲ アンケート調査票

福島市の“地域福祉”推進のための アンケート調査へのご協力をお願い

みなさまには、日頃より福島市の地域福祉活動にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

福島市では、令和8年度からを計画期間とする「福島市地域福祉計画2026」の策定にあたり、市民のみなさまからのご意見・ご要望を計画に反映するため、アンケート調査を実施します。

本調査の対象者は、令和6年9月末日時点の住民基本台帳から18歳以上の2,500名の方を無作為に選ばせていただき、あなた様に調査票を送付させていただきました。お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和6年10月 福島市長 木幡 浩

回答方法 ※下記のどちらかを選択してご回答ください。

「インターネット」による回答方法	「調査票」による回答方法
① URLもしくは二次元コードから、回答フォームにアクセスしてください。 【URL】 https://www.task-asp.net/cu/eg/lar072010.task?app=202401043 【二次元コード】 	① 封筒のあて名にある<u>ご本人が記入</u>してください。ご本人による記入が難しい場合には、ご本人の意見を聞いて、代理の方が記入しても差し支えありません。 ② <u>当てはまる番号を○で囲んで</u>ください。「その他」を選択する場合は、番号を○で囲み、() 内にご意見をご記入ください。 ③ 記入完了後、<u>同封の返信用封筒</u>により、回答期限までにポストへ投函してください（切手不要）。

回答期限

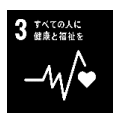
令和6年11月20日(水)まで ※当日消印有効

「地域福祉」とは？

それぞれの地域において人びとが安心して暮らせるように、地域住民や福祉関係者などがお互いに協力して地域社会の福祉課題の解決に取り組む考え方です。

【お問い合わせ先】

福島市 健康福祉部
共生社会推進課 地域福祉係
〒960-8601 福島市五老内町 3-1
TEL：024-525-3760(直通)
メール：tiiki@mail.city.fukushima.fukushima.jp



福島市の地域福祉に関して、皆様が日頃から感じていることをお聞かせください。
 ※回答にかかる時間は、10分程度です。

1 はじめに、あなたご自身のことについてお伺いします。

問1 あなたの年齢はおいくつですか。(○は一つ) ※令和6年10月1日現在

(1) 10～20歳代	(2) 30歳代	(3) 40歳代
(4) 50歳代	(5) 60歳代	(6) 70～74歳
(7) 75歳以上		

問2 あなたの性別をおしえてください。(○は一つ)

(1) 男性	(2) 女性	(3) どちらでもない
--------	--------	-------------

問3 あなたのお住まいの地区をおしえてください。(○は一つ)

(1) 中央地区(本庁)	(2) 渡利地区(立子山を含む)	(3) 杉妻地区	(4) 蓬萊地区
(5) 清水地区	(6) 東部地区(大波を含む)	(7) 北信地区	(8) 吉井田地区
(9) 西地区(土湯を含む)	(10) 飯坂地区(茂庭を含む)	(11) 信陵地区	(12) 松川地区
(13) 信夫地区	(14) 吾妻地区	(15) 飯野地区	

問4 あなたの職業をおしえてください。(○は一つ)

(1) 正規の社員・職員	(2) 派遣・嘱託・契約社員	(3) パート・アルバイト
(4) 自営業(家業手伝い含む)	(5) 会社役員	(6) 学生
(7) 専業主婦・主夫	(8) 無職	

問5 あなたの家族構成をおしえてください。(○は一つ)

(1) 単身世帯
(2) 1世代世帯(夫婦のみ、兄弟や姉妹のみ など)
(3) 2世代世帯(親と子、祖父母と孫、夫婦と未婚の子、夫婦と子の夫婦 など)
(4) 3世代世帯(親と子と孫)
(5) その他 ()

問6 あなたのお住まいの居住形態をおしえてください。(○は一つ)

(1) 持ち家(一戸建て)	(2) 持ち家(集合住宅)	(3) 民間賃貸(一戸建て)
(4) 民間賃貸(集合住宅)	(5) 公営住宅(市営・県営等)	(6) 社宅・公務員住宅等
(7) その他 ()		

2 人との「つながり」について

問7 近所の人とどの程度お付き合いがありますか。(○は一つ)	
(1) 家を行き来するなど親しい関係	【問8】へ
(2) 立ち話やあいさつを交わす程度	
(3) 顔を知っているが、声をかけることはほとんどない	【問7-1】へ
(4) ご近所付き合いはしていない	

問7-1 上記問7で(3)または(4)とした一番の理由はなんですか。(○は一つ)	
(1) 仕事や学業、家事、育児などで忙しく時間がない	
(2) 引っ越してきて間もない	
(3) 普段、付き合う機会がない	
(4) 同世代の人が近くにいない	
(5) 気の合う人や話の合う人が近くにいない	
(6) あまり関わりをもちたくない	
(7) その他 ()	

問8 日常生活で主にどのような悩みや不安がありますか。(○は三つまで)	
(1) 自分の健康・病気に関すること	【問8-1】へ
(2) 自分の仕事・将来・老後に関すること	
(3) 自分の子どもの育児や教育に関すること	
(4) 自分の住まいに関すること	
(5) お金(生活費、財産管理、相続など)に関すること	
(6) 人間関係、人との付き合い方に関すること	
(7) 家族の介護に関すること	
(8) 自分や家族のひきこもりに関すること	
(9) その他 ()	【問9】へ
(10) 特がない	

問8-1 日常生活の悩みや不安は、主に誰と相談しますか。(○は三つまで)	
(1) 同居している家族	【問9】へ
(2) 同居していない家族	
(3) 知人、友人、職場の人	
(4) 近所の人、町内会の役員	
(5) 行政機関(市役所や支所など)	
(6) 民生委員、児童委員	
(7) かかりつけの病院や薬局	

※問8-1の選択肢は、次ページにも続きます。

(8) 社会福祉協議会	【問9】へ
(9) 地域包括支援センターや福祉施設	
(10) その他（ ）	
(11) 身近に相談できる人や機関がない	
(12) 相談しない	【問8-2】へ

問8-2 「相談しない」主な理由はなんですか。(○は三つまで)	
(1) 相談窓口がわからない	
(2) 相談するのに気が引ける	
(3) 相談窓口が遠い	
(4) 個人情報の扱いに不安がある	
(5) 面倒である	
(6) 相談する必要性を感じない	
(7) その他（ ）	

問9 地域の催しや行事、活動などに参加していますか。(○は一つ)	
(1) よく参加している	【問9-1へ】
(2) たまに参加している	
(3) あまり参加していない	【問9-2へ】
(4) 全く参加していない	

問9-1 地域で主にどのような催しや行事、活動に参加していますか。(○は三つまで)	
(1) 地域でのお祭り（夏祭り、花火大会、例大祭 など）	
(2) 地区運動会	
(3) 町内会行事・清掃活動	
(4) 地域のサークル、コミュニティ、サロン活動	
(5) 老人クラブ活動	
(6) 学習センター主催の各種行事・講座	
(7) その他（ ）	

問9-2 催しや行事、活動に「参加していない」一番の理由はなんですか。(○は一つ)	
(1) 参加する時間がない	
(2) 催しや行事、活動を知らない	
(3) 参加したい催しや行事、活動がない	
(4) 交通手段がない	
(5) その他（ ）	

3 地域での支え合い・助け合いについて

問10 地域でのボランティア活動に参加していますか。(○は一つ)	
(1) よく参加している	【問10－1・2・3】へ
(2) たまに参加している	
(3) あまり参加していない	【問10－4へ】
(4) 全く参加していない	

問10－1 主にどのようなボランティア活動に参加していますか。(○は三つまで)	
(1) 高齢者に関する活動	(2) 障がい者に関する活動
(3) 子育てに関する活動	(4) 保健・医療に関する活動
(5) 青少年に関する活動	(6) 環境美化・衛生に関する活動
(7) 文化芸術に関する活動	(8) スポーツに関する活動
(9) 防災や防犯、交通安全等に関する活動	(10) 被災者に対する活動
(11) 国際交流に関する活動	(12) その他（ ）

問10－2 参加した主なきっかけはなんですか。(○は三つまで)	
(1) 社会や人の役に立ちたいから	
(2) 身近な地域をよりよくしたいから	
(3) 自分の知識や経験を活かしたいから	
(4) 楽しそうだから	
(5) 地域でのつながりや交流の機会を増やしたいから	
(6) 知人・友人等に誘われたから	
(7) 周りの人がやっているから	
(8) 持ち回りなどで頼まれたから	
(9) 地域住民としての義務だと思ったから	
(10) その他（ ）	

問10－3 地域でのボランティア活動を通して、地域のために役立っていることがあればご記入ください。(自由記載)
(例) 交通安全パトロールなどの見守り活動を行い、地域の安全確保が図られた。 美化活動に参加し、地域の環境保全につながった。 など

問１０－４ 「参加していない」主な理由はなんですか。(○は三つまで)	
(1) 体力的に参加することが難しい	
(2) 自分の趣味や自由な時間を優先したい	
(3) ボランティア活動に関する情報がない	
(4) 地域の人と交流することに気が進まない	
(5) 興味のあるボランティア活動がない	
(6) ボランティア活動に興味がない	
(7) その他 ()	

問１１ 地域の人に支えられた（助けられた）と感じたことはありますか。(○は一つ)	
(1) ある	(2) ない
(3) 助けを必要としていない	(4) わからない

問１２ 困りごとがあった場合、地域の人から手助けしてほしいですか。(○は一つ)	
(1) 手助けしてほしい	(2) 手助けしてほしくない
(3) 自分で解決する	(4) わからない

問１３ 困っている人を見かけた時、声かけや手助けをしたことはありますか。 (○は一つ)	
(1) 声かけや手助けをしたことがある	
(2) 見かけたことはあるが、声かけや手助けをできなかった	
(3) 見かけたとしても、声かけや手助けはしたくない	
(4) 見かけたことがない	

問１４ 災害がおきた時に、地域の方にどのような支援（手助け）ができますか。 (○は三つまで)	
(1) 「大丈夫ですか」などの声かけ	
(2) 災害状況や避難情報などの伝達	
(3) 相談相手や話し相手になる	
(4) 飲み物や食料などの備蓄品の提供	
(5) 避難の手助け	
(6) 介助や応急手当	
(7) その他 ()	
(8) 支援したいが余裕がないためできそうにない	
(9) わからない	

4 情報収集の方法について

問 1 5 市政情報を収集する際にインターネットやSNS等のデジタルサービスを利用していますか。 (○は一つ)	
(1) よく利用する	【問 1 6】へ
(2) ときどき利用している	
(3) ほとんど利用していない	【問 1 5 - 1・2、 問 1 6】へ
(4) 全く利用していない	

問 1 5 - 1 「利用していない」主な理由はなんですか。(○は三つまで)	
(1) どのように使えばよいかわからないから	
(2) 以前使おうとした、もしくは使ってみたことがあるが、うまく使えなかったから	
(3) どこで、どんなデジタルサービスを購入・契約すればよいかわからないから	
(4) 個人情報の漏洩や詐欺被害など、トラブルに遭うのではないかと不安だから	
(5) 購入や利用にかかる料金が高いと感じるから	
(6) 自分の生活には必要ないと思っているから	
(7) 必要があれば家族に任せればよいと思っているから	
(8) 身近に携帯電話店や家電量販店など、デジタル端末を購入できる場所がないから	
(9) その他 ()	

問 1 5 - 2 あなたの生活に必要な市政情報の主な収集先はどちらですか。 (○は三つまで)	
(1) 市政だよりなど福島市の広報誌	(2) 行政機関の窓口(市役所や支所など)
(3) 町内会の回覧板	(4) 地区の民生委員・児童委員
(5) 新聞(タウン情報誌を含む)	(6) テレビ
(7) ラジオ	(8) ポスター及びチラシ
(9) 家族、知人、友人	(10) その他 ()

問 1 6 福島市が行っているデジタルによる情報発信方法で知っているものはありますか。 (知っているもの全てに○)	
(1) 公式ホームページ	(2) 公式Facebook
(3) 公式X(エックス)	(4) 公式LINE
(5) 公式YouTube	(6) 防災アプリ
(7) ゴミ分別アプリ「さんあ〜る」	(8) 子育てアプリ「えがお」
(9) ふくしま健民アプリ	(10) わからない

5 孤立・孤独について

問17 あなたは「孤独」だと感じることはありますか。(○は一つ)	
(1) ない	【問18】へ
(2) たまにある	【問17-1】へ
(3) ときどきある	
(4) しばしばある・常にある	

問17-1 その状況はどのくらい前から続いていますか。(○は一つ)
(1) 6ヶ月未満
(2) 6ヶ月以上1年未満
(3) 1年以上2年未満
(4) 2年以上3年未満
(5) 3年以上5年未満
(6) 5年以上

問18 新型コロナウイルス感染症が始まった2020年3月頃より前（コロナ禍前）と比べて、現在は他者とのコミュニケーションにどのような変化がありますか。 (①及び②について、それぞれ○は一つ)		
① 人と直接会ってコミュニケーションをとること		
(1) 増えた	(2) 変わらない	(3) 減った
② 人と直接会わずにコミュニケーションをとること (例：手紙・電話・SNS・インターネット など)		
(1) 増えた	(2) 変わらない	(3) 減った

6 防犯・再犯防止について

※「再犯防止」とは

非行や犯罪をした人の中には、高齢である、障害があるなどの理由で、自立した生活を送っていくことが困難な人もいます。自分の力だけで社会復帰をすることが難しい方に対して、福祉・医療的支援や就労支援などを行うことにより更生を促し、地域の一員として誰もが安全で安心して暮らせる共生社会の実現を目指す取り組みです。

問19 福島市が犯罪のない（少ない）安全で安心な暮らしやすい街だと感じますか。 (○は一つ)	
(1) 感じる	
(2) どちらかといえば感じる	
(3) どちらかといえば感じない	
(4) 感じない	
(5) わからない	

問20 非行や犯罪の防止、非行や犯罪をした人の立ち直りなどを支援する民間協力者がいることを聞いたことがありますか。 (聞いたことがあるもの全てに○)	
(1) 保護司	(2) 更生保護女性会
(3) 協力雇用主	(4) BBS会
(5) 更生保護施設	(6) 福島市青少年センター補導委員
(7) こども110番ひなんの家	(8) 防犯協会
(9) その他 ()	(10) 聞いたことがない

問21 非行や犯罪の防止、非行や犯罪をした人の立ち直りや見守り、声かけなどに協力したいと思いますか。 (○は一つ)	
(1) 思う	
(2) どちらかといえば思う	
(3) どちらかといえば思わない	
(4) 思わない	
(5) わからない	

7 その他

問2 2 今後の地域社会において、あなたが特に重視する事項は何ですか（〇は三つまで）	
(1) お互いを尊重し支え合う意識の醸成	【互いの尊重】
(2) 地域福祉の推進を担う人材の育成	【人材育成】
(3) 住民主体による支え合いの基盤強化	【支え合い】
(4) 地域福祉を支える人材や関係団体・機関の共創による地域福祉力の向上	【共創】
(5) 災害に対して強靱な地域づくりの推進	【防災】
(6) 緊急時に即応可能な支援体制の構築	【緊急時支援体制】
(7) 利用者の立場に立った福祉サービスの提供	【利用者目線のサービス提供】
(8) 地域における権利擁護（虐待・成年後見等）の推進	【権利擁護】
(9) 健やかで安心して暮らせる地域生活の構築	【健やか・安心】
(10) 複雑で複合的な悩みを抱えた人への総合相談や支援体制の整備	【包括的支援】
(11) その他（ ）	
(12) 特になし	

問 2 3 本市が行う福祉サービスに満足していますか。(○は一つ)	
※例) 介護、認知症、障がい者、子育て、保育 など	
(1)	満足している
(2)	やや満足している
(3)	どちらでもない
(4)	やや不満である
(5)	不満である
(6)	わからない

問 2 4 地域福祉に関することで、ご意見・ご要望などありましたらご記入ください。

(自由記載)

アンケートは以上になります。ご協力いただきありがとうございました。
回答結果につきましては、福島市のホームページで公表する予定です。

福島市の“地域福祉”推進のための アンケート調査報告書

令和7年3月発行

発 行 福島市
編 集 健康福祉部 共生社会推進課
〒960-8601 福島県福島市五老内町3番1号
電話：024-525-3760 FAX：024-535-7970
E-mail：tiiki@city.fukushima.lg.jp
